

中津川市景観計画運用マニュアル

2007年（平成19年）7月策定

2019年（平成31年）3月改定

目次

第1章 中津川市景観計画のめざすところ	001
1. 目的（ねらい）	001
2. 区域の設定	001
第2章 景観計画区域・景観資源周辺区域	003
1. 景観計画区域	003
(1) 眺望景観の保全の考え方	003
2. 景観資源周辺区域	008
(1) 景観資源周辺の保全の考え方	008
(2) 景観計画重点区域等への移行	014
3. 景観計画区域における行為の制限に関すること	015
第3章 中山道沿道景観区域	019
1. 中山道の景観特性	019
2. 景観形成の目標イメージ	020
3. 沿道景観形成の考え方	020
(1) 空間演出の心得	020
(2) 空間演出の作法	027
(3) 建築物の空間演出方針	028
(4) ランドスケープの空間演出方針	045
第4章 景観計画重点区域	060
1. 本町中山道地区	060
(1) 本町中山道地区の建築規制	060
(2) 本町中山道地区の景観特性	063
(3) 景観形成の目標イメージ	064
(4) 3つの分類	065
(5) 本町中山道地区の修景基準	066
(6) 本町中山道地区のまちなみ景観形成の手法・まちなみ修景事例	068
2. 落合中山道地区（落合宿地区・落合石畳地区）	099
(1) 落合中山道地区の景観特性	099
(2) 景観形成の目標イメージ	099
(3) 3つの分類	102
(4) 落合宿・落合石畳地区の修景基準	103
(5) 落合宿・落合石畳地区のまちなみ景観形成の手法・まちなみ修景事例	106

3. 馬籠中山道地区（馬籠宿地区・新茶屋地区・峠地区）	137
(1) 景観形成に関わる取組	137
(2) 馬籠中山道地区の景観特性	138
(3) 景観形成の目標イメージ	139
(4) 3つの分類	142
(5) 馬籠宿地区の修景基準	143
(6) 馬籠宿地区のまちなみ景観形成の手法・まちなみ修景事例	145
(7) 新茶屋・峠地区の修景基準	177
(8) 新茶屋・峠地区のまちなみ景観形成の手法・まちなみ修景事例	179

第5章 色彩基準 **206**

(1) 色彩、色彩基準の見方	206
(2) 景観計画区域における色彩規制	207
(3) 中山道沿道景観区域における色彩誘導基準	208
(4) 景観計画重点区域における屋根及び外壁の色彩規制	209
(5) 公共施設における推奨色	211

※この冊子の色彩に関して、印刷による色再現のため実際のマンセル値とは異なる場合があります。

第1章 中津川市景観計画のめざすところ

1. 目的（ねらい）

中津川市では、地域の活力によって今日まで継承されてきた街道のまちなみや地歌舞伎の農村舞台などの地域の歴史・文化の景観や、恵那山、笠置山や中央アルプスの山なみ、木曾川、付知川、中津川などの河川や奇岩などの豊かな自然の景観、人々の暮らしによって支えられてきた田や畑などの農業の景観など、市内全域において地域ごとに特有の景観を形成しています。さらには、リニア中央新幹線開業や国内外の観光客の増加が見込まれ、新たな景観形成にむけての取組みが求められています。

この景観形成運用マニュアルは、中津川市景観計画に示す配慮事項や行為の制限について、地域住民の方に積極的な配慮を頂くために、詳細に解説するものです。

2. 区域の設定

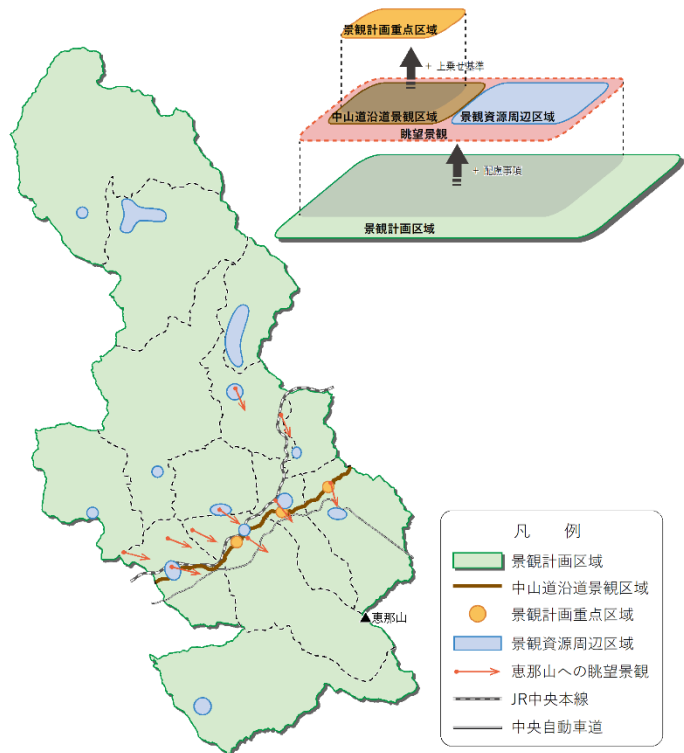
中津川市景観計画では良好な景観の形成を図るための景観誘導の必要性等を考え、「景観計画区域（眺望景観）」「中山道沿道景観区域」「景観計画重点区域」「景観資源周辺区域」について指定しています。

■景観計画区域

山や川の美しい自然景観と中山道宿場町に代表される街道のまちなみ景観を守り、育て、つくっていくために市全域を景観計画区域としています。区域内においては大規模建築の建築や開発の行為に関し

て届出義務を課し、景観に影響を及ぼす場合は勧告を行いながら緩やかな景観誘導による景観形成を図ります。

また、景観計画区域内には恵那山をはじめとする多くの優れた眺望景観があり、これらについても景観形成を図ります。



■中山道沿道景観区域

馬籠宿、落合宿、中津川宿の3つの宿場町をつなぐ中山道沿道について、一体感のある景観として守り育てるために、市内の東から西に渡る中山道沿道全域を「中山道沿道景観区域」と定め、中山道らしい景観形成の方針を掲げ指針誘導を図ります。

■景観計画重点区域

中津川宿、落合宿、馬籠宿があった地区を「本町中山道地区」「落合中山道地区」「馬籠中山道地区」として景観計画重点区域に設定しています。景観計画重点区域は、本市を象徴する景観特性を有しているとともに良好な景観の形成が特に必要とされる区域であり、建築物の建築、工作物等の建設等の行為に関して、積極的な規制誘導により良好な景観形成を図ります。

■景観資源周辺区域

中津川市内の13の地区には、それぞれ大切にされてきた景観資源があり、その周辺では、その地区らしい景観を形成しています。景観資源を含み景観を形成する範囲において、景観資源周辺区域と定め、地区の特色ある良好な景観形成を図ります。

■区域別の方針・行為の制限の有無

○印 有り

	方針	行為の制限	届出対象行為
景観計画区域	○	○	延床面積1,000m ² の大規模建築物の建築等 開発行為としての開発区域3,000m ² 以上の開発
中山道沿道景観区域	○	×	
景観計画重点区域	○	○	建築物・工作物等
景観資源周辺区域	○	×	

第2章 景観計画区域・景観資源周辺区域

1. 景観計画区域

(1) 眺望景観の保全の考え方

中津川市を代表する景観である恵那山への眺望を保全するために、以下の方針を定めています。市民アンケート調査結果をもとに恵那山眺望の視点場として12カ所を選定し、眺望景観の保全のための建築等のあり方を示しています。

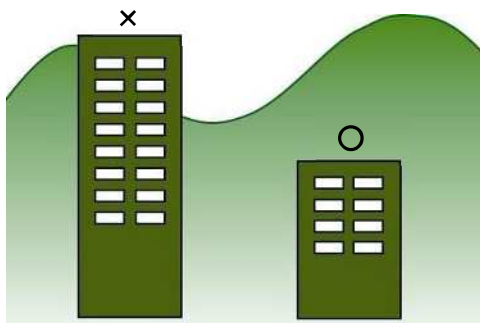
眺望景観の保全に関する方針（景観計画区域）

- 中津川市を代表する恵那山の眺望を尊重し、直近の眺望点から恵那山を背景にした際に稜線を越えることのないように建築物・工作物を配置し、調和させます。台地上においては建築物や工作物を稜線に沿うように配置デザインし、自然に逆らわないようにし、緑化等で修景します。
- また、恵那山のほか、笠置山、御嶽山、中央アルプスなどの山なみ、木曾川、落合川等の河川等を望む優れた眺望についても尊重していく必要があります。

【視点場における建築物等のあり方】

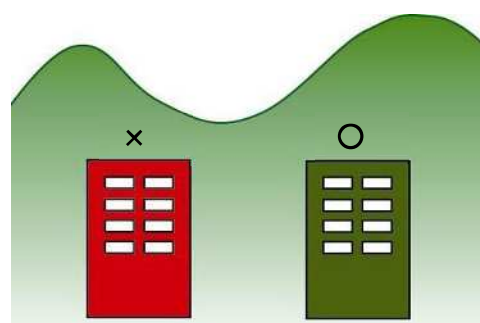
■位置・形状

視点場から山なみ稜線を越えないよう配慮し、建築物等の位置と形状に配慮します。

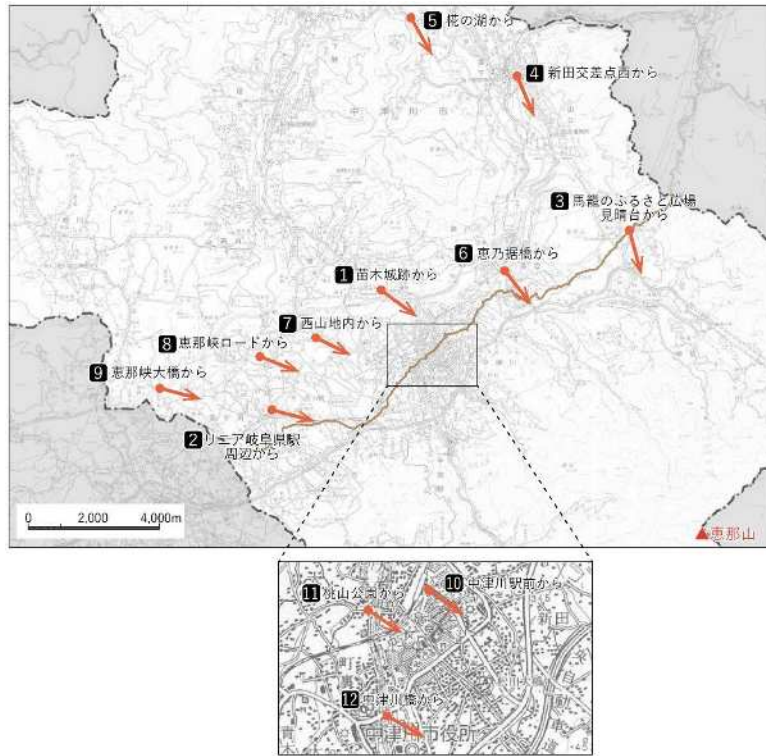


■色彩

山なみを背景とした色彩について配慮します。



恵那山眺望の視点場



《視点場》

- ① 苗木城跡
- ② リニア岐阜駅周辺
- ③ 馬籠のふるさと広場 見晴台
- ④ 新田交差点西
- ⑤ 椈の湖
- ⑥ 恵乃据橋
- ⑦ 西山地内から
- ⑧ 恵那峡ロード
- ⑨ 恵那峡大橋
- ⑩ 中津川駅前
- ⑪ 桃山公園
- ⑫ 中津川橋

【眺望の配慮イメージ（例：⑩中津川駅から恵那山への眺望）】

中津川駅から恵那山の山なみへの現在の眺望が左図です。現在の山並み稜線の眺望を確保することに努め、右図のように眺望を遮断することは避けるよう配慮します。

● 現況の眺望（左図）



● 高層ビルによる眺望遮断（右図）



■各視点場状況写真

苗木城跡



リニア岐阜県駅周辺



※リニア岐阜県駅パース：リニア岐阜県駅周辺整備概略設計
(岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会・基盤整備部会 (H28.3))

馬籠のふるさと広場 見晴台



新田交差点西



権の湖



恵乃据橋



西山地内



恵那峡ロード



恵那峡大橋



中津川駅前



桃山公園



中津川橋



2. 景観資源周辺区域

(1) 景観資源周辺の保全の考え方

中津川市には、地区ごとに市民により大切にされてきた景観資源が多くあり、景観資源を中心とした優れた景観を形成しています。景観資源の周辺においては、建築物・工作物は配置、意匠、色彩、高さについて配慮することで、景観資源との調和を図ります。

景観資源周辺区域（景観計画重点区域候補）

- | | | |
|------------|----------------------|---------------|
| [中津]中津川駅周辺 | [苗木]苗木城跡周辺 | [坂本]リニア岐阜県駅周辺 |
| [落合]落合棚田周辺 | [阿木]阿木川ダムを見下ろす農村風景周辺 | |
| [神坂]湯舟沢周辺 | [山口]乙姫岩周辺 | [坂下]椈の湖周辺 |
| [川上]もみじの里 | [加子母]明治座周辺 | [付知]付知川周辺 |
| [福岡]常盤座周辺 | [蛭川]ヒトツバタゴ周辺 | |



■景観資源周辺区域

景観資源周辺区域は、下記の方針に従い選定した。

方針1 市民が愛着を持つ景観

①平成29年度市民アンケート結果

「中津川市を代表する景観、誇りに思う景観」「好きな景観」

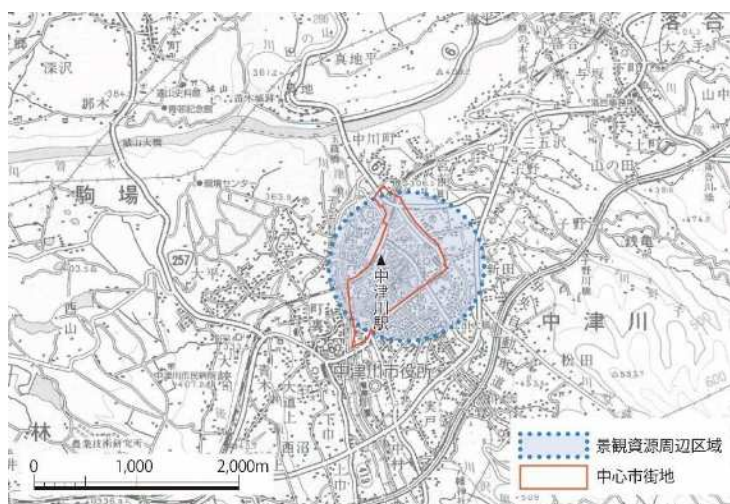
②郷土かるた

方針2 市の政策として景観誘導・規制が必要な景観

①都市計画マスタープラン

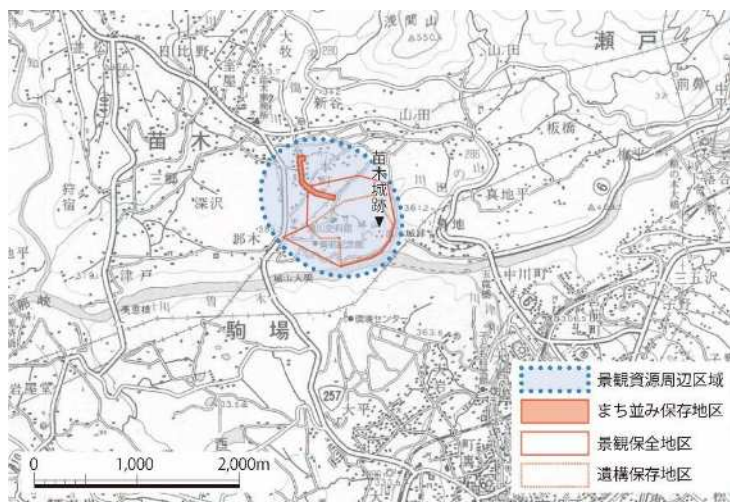
②地域づくりビジョン

【中津】中津川駅周辺



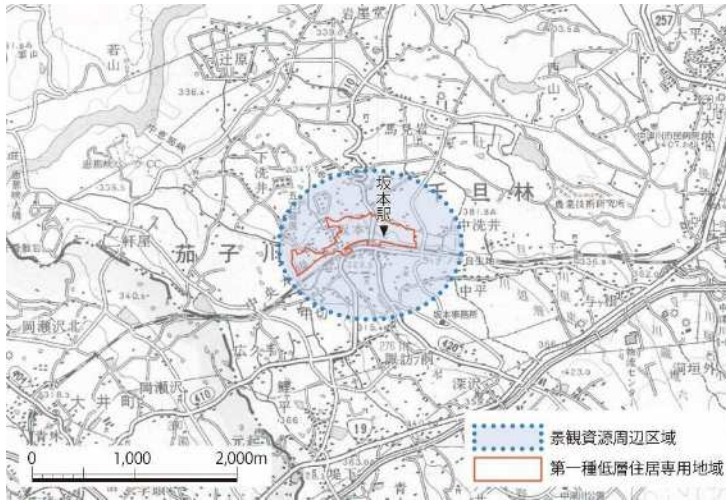
※中心市街地：中津川市中心市街地活性化基本計画（H30.7）

【苗木】苗木城跡周辺



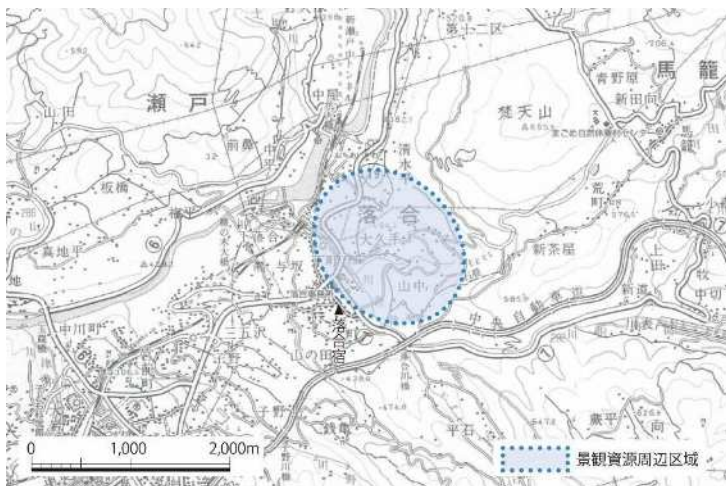
※まち並み保存地区・景観保全地区・移行保存地区：史跡苗木城跡整備基本構想（H12.3）

【坂本】リニア岐阜県駅周辺



※リニア岐阜県駅パース：リニア岐阜県駅周辺整備概略設計
 (岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会・基盤整備部会 (H28.3))

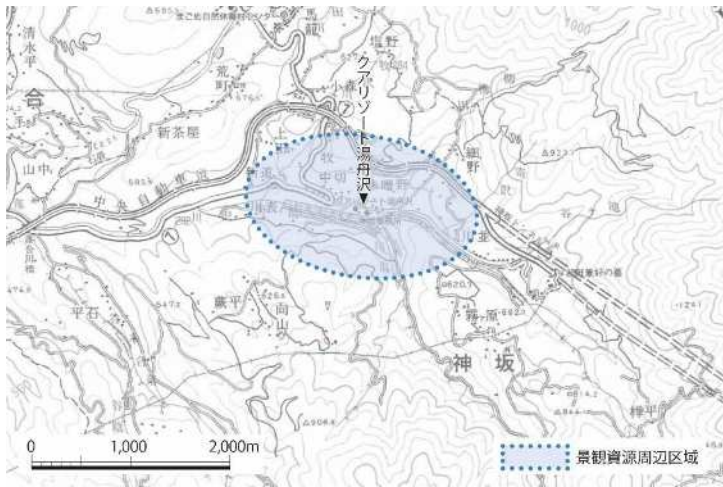
【落合】落合棚田周辺



【阿木】阿木川ダムを見下ろす農村風景周辺



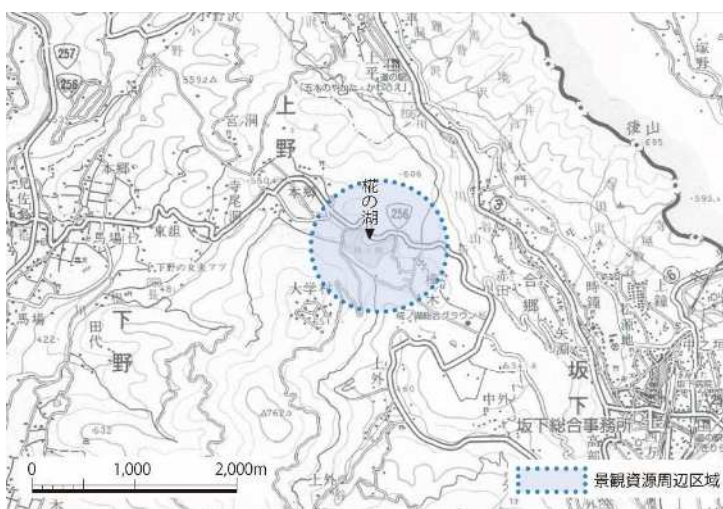
【神坂】湯舟沢周辺



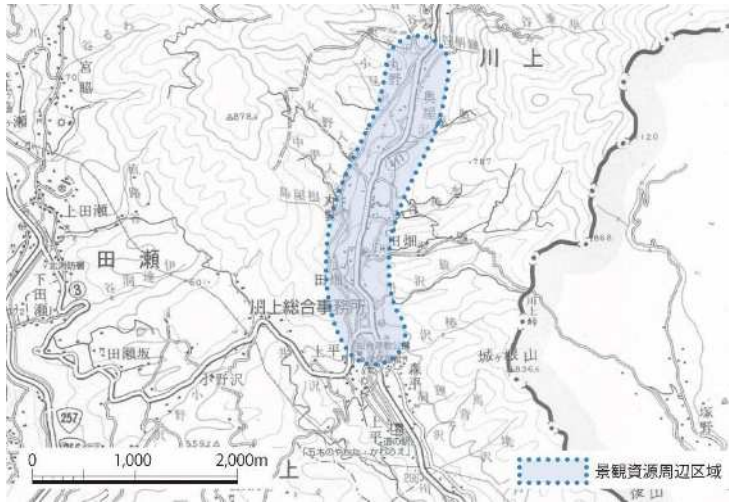
【山口】乙姫岩周辺



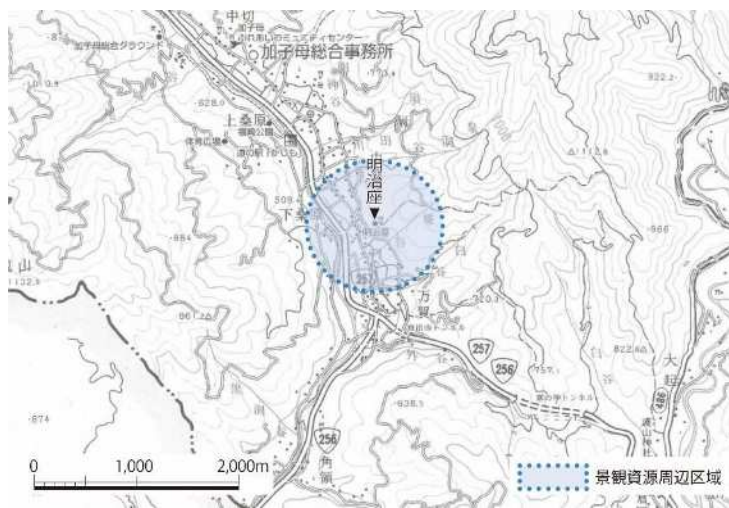
【坂下】椋の湖周辺



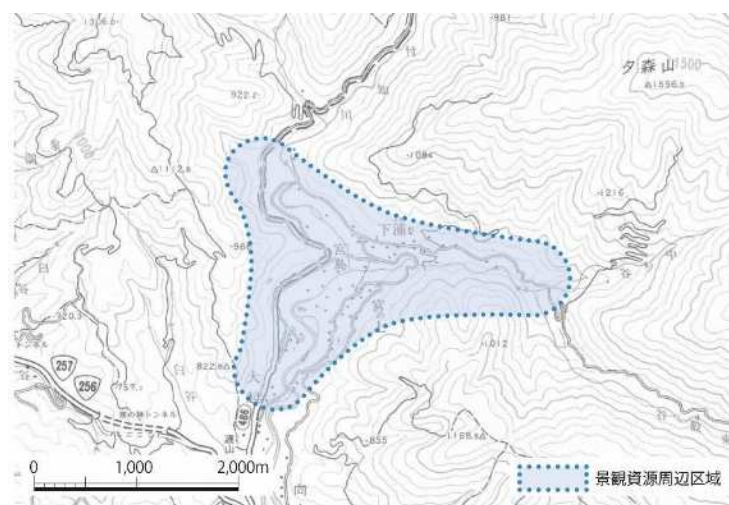
【川上】もみじの里



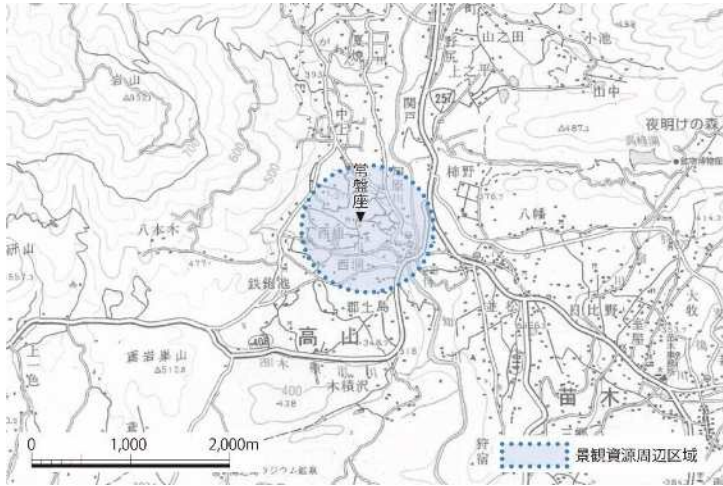
【加子母】明治座周辺



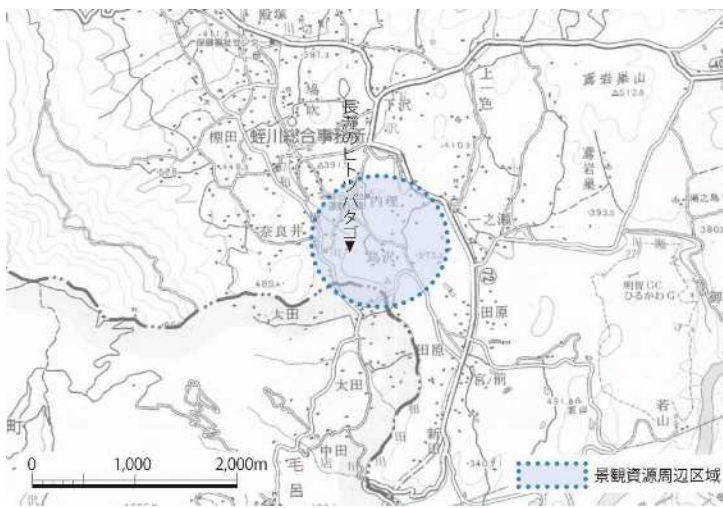
【付知】付知川周辺



【福岡】常盤座周辺



【蛭川】ヒトツバタゴ周辺

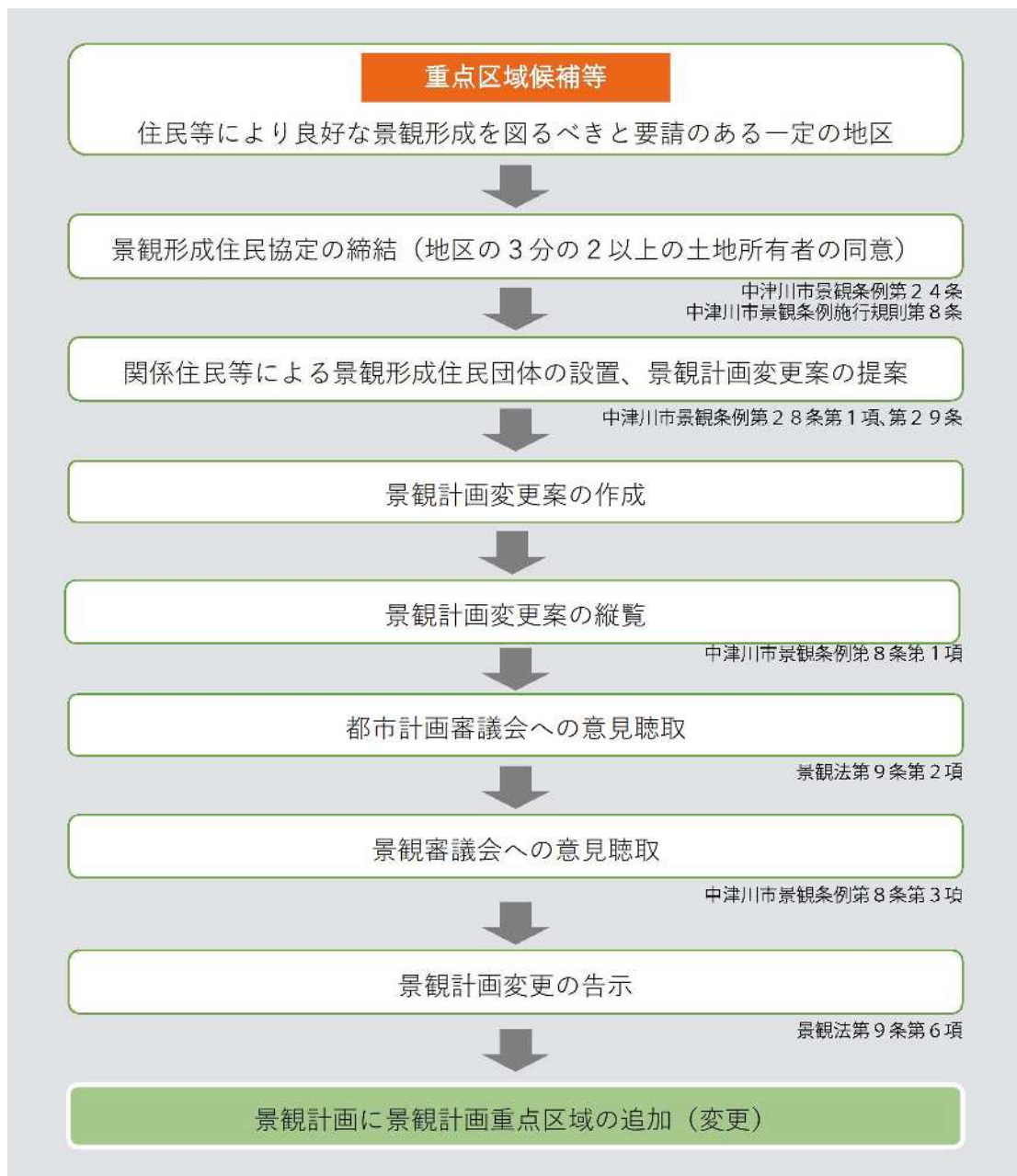


(2) 景観計画重点区域等への移行

景観計画重点区域候補である景観資源周辺区域やその他の地域において、住民等により景観まちづくりを行う場合については、景観計画重点区域へ移行する仕組みについて利用の促進を図ります。

景観計画重点区域の指定は、景観計画の変更により可能になります。

景観計画の変更手続きは、景観形成住民協定の締結のもと景観形成住民団体を設置し、景観計画変更案の縦覧、及び、景観審議会への意見聴取を経る必要があります。



3. 景観計画区域における行為の制限に関すること

景観計画区域（市全域）では地域のシンボルとなる大規模建築物の建築等、開発時に届出義務を課し、大規模建築物の色彩及び開発行為における緑化の規制を設け良好な景観形成の誘導を図っています。

届出対象行為（景観計画区域）

【届出対象行為】

- ・延べ床面積 1,000m² 以上の大規模建築物
- ・開発行為としての開発区域 3,000m² 以上の開発

【届出時】

- ・「大規模建築物の建築等」、「開発」時の届出

行為の制限（景観計画区域）

【大規模建築物の色彩規制】

- ・周辺の色調と調和する落ち着いたものとし、彩度を落とした色彩とする。
- ・彩度の高い色をアクセント的に使用する場合は、外部から見える壁面面積の5%程度までとする

【開発行為における緑化規制】

- ・道路等の公共空間との境界部分については緑化する

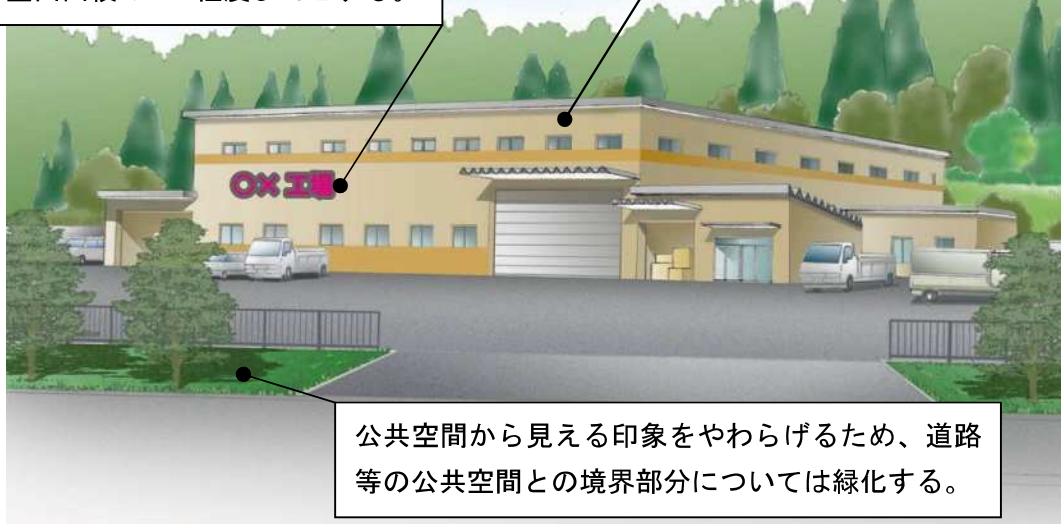
①大規模建築物の色彩規制・開発行為における緑化のあり方

大規模建築物の色彩については、前の行為の制限が定められています。大規模建築物の色彩基準について詳しくは後述 206 頁「第5章 色彩基準」をご覧ください。

■行為の制限に関する解説

彩度の高い色をアクセント的に使用する場合は、外部から見える壁面面積の5%程度までとする。

周辺の色調と調和する落ち着いたものとし、彩度を落とした色彩とする。



公共空間から見える印象をやわらげるため、道路等の公共空間との境界部分については緑化する。

②関連施策等との整合

大規模行為にあわせて景観まちづくりを進めるためには、計画の初期の段階から、行為地がどのような景観に係わる規制等の対象となっているか、景観まちづくりのためにどのような施策が行われているかを確認し、その規制や誘導、施策等の内容を把握しておく必要があります。また、地域住民による景観づくりの活動が行われている地域では、これらの活動の目的に沿った行為の内容とするとともに、地域のより良い景観づくりのために積極的に協力していくことが大切です。

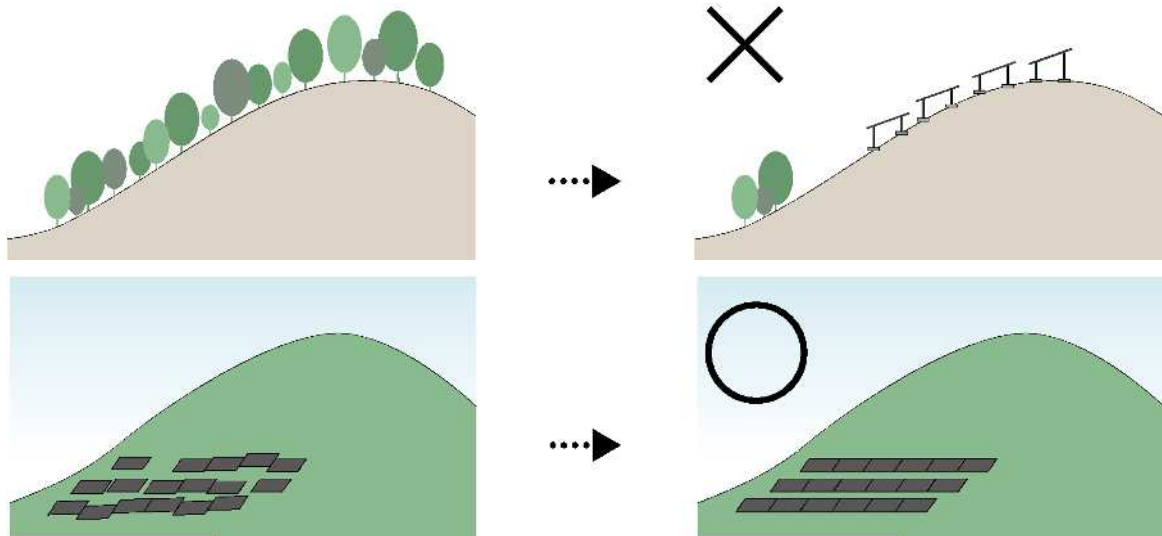
法令等	対象区域	関連する大規模行為（○印）				
		建築物の新築等	工作物の新築等	土地の区画形質の変更	物品の集積貯蔵	鉱物の掘採等
都市計画法	都市計画区域	○	○	○		
建築基準法	全域	○	○			
高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 岐阜県福祉のまちづくり条例	全域	○				
屋外広告物法 岐阜県屋外広告物条例	禁止・許可地域等		○			
大規模小店舗立地法	全域	○	○			
工場立地法	全域	○	○			
大気汚染防止法 岐阜県公害防止条例	全域		○			
環境影響評価法 岐阜県環境影響評価条例	全域	○	○	○		
廃棄物の処理と清掃に関する法律	全域	○	○	○	○	
砂利採取法	全域					○
採石法	全域					○
自然公園法 岐阜県立自然公園条例	県立公園	○	○	○	○	○
自然環境保全法 岐阜県自然環境保全条例	自然環境保全地域	○	○	○		○
森林法	地域森林計画の対象民有地			○		○
農地法	全域の農地	○	○	○	○	○
農業振興地域の整備に関する法律	農業振興地域	○	○	○	○	○

③景観計画区域における大規模建築物・工作物の景観への配慮

【太陽光発電設備の配慮】

中津川市のような起伏のある地形では、太陽光発電設備がよくみえます。境界部を緑化し、太陽光発電設備をきれいに整列させるなどの配置の工夫をすることで、景観に対する影響を軽減することができます。

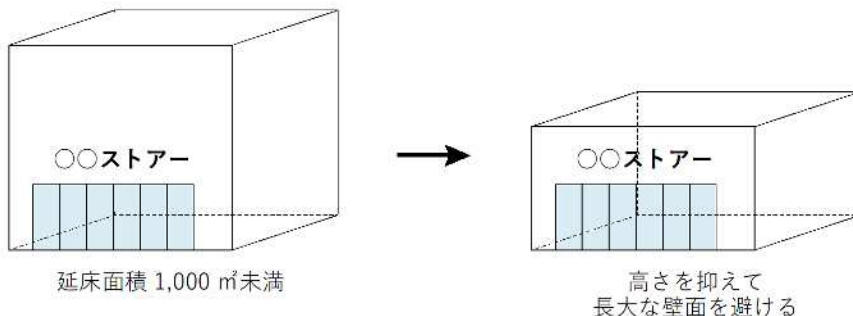
なお、中津川市においては、豊かな自然環境、安全安心な生活環境及び特色ある景観の保全と急速に普及が進む再生可能エネルギー発電事業との調和を図るために「中津川市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」を制定しています。



【延床面積が 1000 m²未満の高さのある建築物】

長大な建築物の壁面等は圧迫感があり眺望を阻害するため、延床面積が 1,000 m²未満の建物の高さのある建築物については壁面を大きくしすぎない等の配慮が必要です。

※延床面積 1,000 m²以上の大規模建築物の建築は届出が必要な行為です。



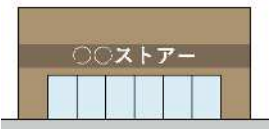



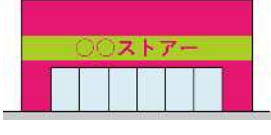
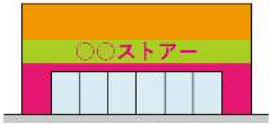


【大規模建築物の色彩変更（累積で 1/2 を超えた時点）】

大規模建築物の色彩の変更を行う場合、建築物の外観の変更の範囲が建築物のそれぞれの面で 1/2 を超える場合については、行為の届出の対象となります。

外観の変更の範囲が建築物のそれぞれの面で 1/2 を超えない場合、行為の届出は不要ですが、外観の変更範囲が面の累積で 1/2 を超える場合には、景観条例第 16 条に基づく指導の対象となることがありますのでご注意ください。

長大で派手な色彩の外壁は景観を阻害するため、落ち着いた色彩にし、アクセントカラーを効果的に使用するなどの配慮をお願いします。

	1/2 未満の変更	1/2 以上の変更
既存適合の建築物 	 届出対象外	 届出対象
既存適合の建築物 	※変更の結果が 景観計画に適合  届出対象外	 届出対象
既存不適格の建築物 	※変更の結果が 景観計画に不適合  届出対象外 指導対象	

※既存不適格の建築物であって、外観の変更の範囲が少なく既存の色彩で再度塗り替えるなど変更が修繕の枠に収まる場合については、指導対象となりません。

【大規模建築物に附帯する工作物】

大規模建築物に附帯する工作物、看板等については、建築物と一体とみなし、壁面の一部として取り扱うこととします。



第3章 中山道沿道景観区域

1. 中山道の景観特性

(1) 交通の要衝としての「歴史・文化」と暮らし

中山道は江戸と京都をつなぎ、飛騨街道とも結節する交通の要衝です。情緒的なまちなみや、一里塚や石標などの街道文化を示す石碑といった当時の面影を残す施設や施設跡が多く、情緒的な景観が残っています。現在、中山道沿道では、田や畑のあぜ道の草刈りや花づくりなど、活発な地域住民の活動により美しい景観が保たれるとともに、人々の暮らしが感じられる空間となっています。



(2) 「地形」による視界の変化

中山道は、中津川市独特の起伏のある地形や、鬱蒼とした木々による視界の広がりや塞がり、また、中山道自体の蛇行などにより、歩きながら変化して見える多様な景観を見せてくれます。美しい恵那山への眺望や、管理された棚田などは四季折々の美しい景観をみせてくれます。中山道の景観を構成する周辺環境が良好に保たれていることが、魅力ある中山道の根底にあります。



(3) 行き交う人々を魅了する「往来」の場

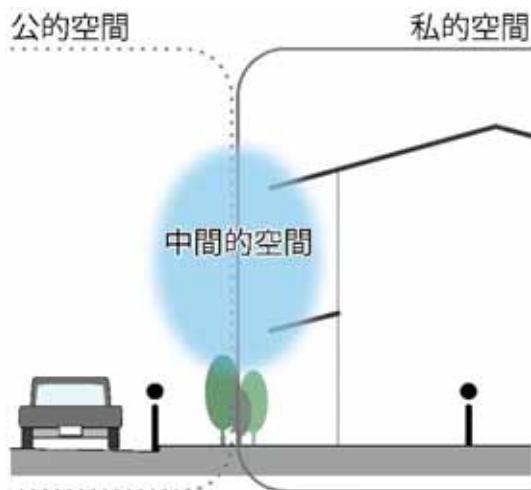
一面に広がる田園や、地形に沿って形成された棚田と瓦屋根の建築物が美しい農山村景観をつくっています。昔から中山道や宿場町は、多くの人々が行き交う交流の場でした。現在でも国内外から多くの観光客が来訪する交流の場であり、市の魅力を発信できる場となっています。



2. 景観形成の目標イメージ

私たちを取り巻く環境は、敷地等の私的空間と道路、河川等の公的空間から成り立っています。私的空間はその所有者である市民や事業者が作り、公的空間は行政が整備をしています。

景観形成にあたっては、私的空間と公的空間が接する「中間的空間」を市民、事業者、行政の協働によって守り、育て、つくっていくことが必要になります。この中間的空間について、中山道の景観の魅力を守り高めるために、以下の3つを空間演出の目標とします。



- 歴史・文化を重視 ・ ・ ・ 歴史的な建築物の保全と、新規の建築物の調和
- 眺めを意識 ・ ・ ・ 田園や遠方の山々などの周辺環境の尊重
- 魅力の向上 ・ ・ ・ 中山道らしいおもむきとにぎわいの演出

3. 沿道景観形成の考え方

(1) 空間演出の心得

空間演出を進めるにあたり、中山道において建築物の建築や開発する場合において配慮すべき基本的な考え方を「心得」とします。

下記の10の心得を配慮することで、中山道らしい景観の創出を目指します。

建築物	まちなみ	心得 ① 中山道の情緒が感じられるまちなみに配慮します 心得 ② 伝統的な建築物の要素とスケール感に配慮します 心得 ③ 中山道らしさと商業地としてのにぎわいの両立が大切です
	眺望	心得 ④ 中山道の背景に広がる景観に配慮します 心得 ⑤ 視界の変化による景観の見え方に配慮します
ランドスケープ※	道路	心得 ⑥ 中山道のつながりが感じられる空間が大切です
	サイン	心得 ⑦ 歩行者にとってのわかりやすさ・利便性・安全性が大切です
	夜間	心得 ⑧ 夜間の情緒的な雰囲気演出が大切です
	緑	心得 ⑨ 歩いて楽しめるうるおいのある空間が大切です
	太陽光	心得 ⑩ 太陽光発電設備は、中山道からの眺望に配慮します

※ランドスケープ：風景や景色のこと。ここでは、景観を構成する要素について述べています。

心得 ① 中山道の情緒が感じられるまちなみに配慮します

中山道沿いの情緒的なまちなみを形成している伝統的な建築物、水路、石垣、棚田などの田園を後世に残すことは、中津川市の地域の財産を守ることにつながります。



心得 ② 伝統的な建築物の要素とスケール感に配慮します

中山道では、昔ながらの道幅が残され、沿道の建築物は道幅とのバランスのとれた大きさに連続したまちなみを形成しています。現代的な建築物に中山道らしい和の要素と、バランスの良い規模に配慮することで、中山道のまちなみに調和します。



心得 ③ 中山道らしさと商業地としてののにぎわいの両立が大切です

中津川駅周辺では、多くの商業施設が立地する店舗や事務所として発展しています。中山道らしいおもむきと商業地としてののにぎわいを両立することで、玄関口としてのまちの魅力の向上につながります。



心得 ④ 中山道の背景に広がる景観に配慮します

田園の広がる視界の開けた場所では、勾配屋根の建築物の背景に田園や遠方の山々などの豊かな緑を眺めることができます。背景を意識することで、建築物や工作物が周辺環境に調和します。



心得 ⑤ 視界の変化による景観の見え方に配慮します

蛇行する中山道、中津川市独特の起伏のある地形、鬱蒼とした木々により、歩きながら見える景観は常に変化し続けます。見え方を意識することで、建築物や工作物において、優先的に配慮すべきことが明確になります。



心得 ⑥ 中山道のつながりが感じられる空間が大切です

地道風の道路舗装は、中山道全体のつながりを可視化し、質の高い空間を提供します。



心得 ⑦ 歩行者にとってのわかりやすさ・利便性・安全性が大切です

中山道の案内や誘導をするサインや、中山道に係る施設や施設跡を解説するサインなど、歩行者から見たわかりやすさと、楽しめる仕組みについて配慮します。



心得 ⑧ 夜間の情緒的な雰囲気演出が大切です

効果的にライトアップをすることにより、歩行者の安全性や視認性を確保しながら、電気のない時代の情緒的な雰囲気を演出することができます。



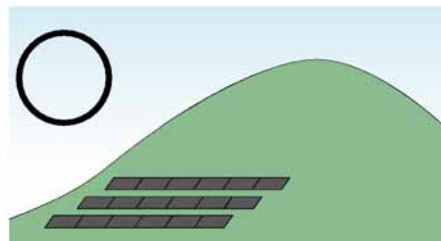
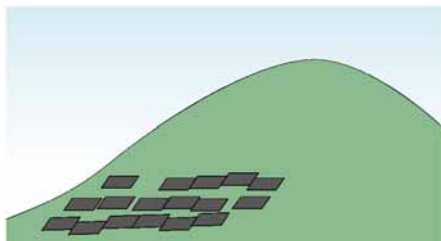
心得 ⑨ 歩いて楽しめるうるおいのある空間が大切です

敷地の状況にあわせた適切な緑化は、四季折々に美しいうるおいのある空間を創出するとともに、歩行者には暮らしの見える楽しい歩行空間を提供します。



心得 ⑩ 太陽光発電設備は、中山道からの眺望に配慮します

起伏のある地形が多い中津川市では、太陽光発電設備の配置方法や色彩を配慮することで、周辺環境に調和させることが大切です。



市街地において近代的な建築物と伝統的な家屋の残るまちなみのイメージ



**「商業地の場合」
素材・色彩**
外観は2階までを配慮し、昔ながらの素材やその色彩を用いることで、中山道の情緒を取り入れられます。
【関連：作法5・15】

建築物の高さ
伝統的な建築物の高さに配慮することで、一体感のあるまちなみになります。
【関連：作法2】

屋外付属設備
室外機等を中山道に面して設置する場合は木の柵等で覆うことで配慮できます。
【関連：作法9】

夜間景観
足元灯などの効果的なライトアップにより、時代を偲ばせる情緒的な光の演出と安全性の両立ができます。
【関連：作法17】

外壁・屋根の素材・色彩
昔ながらの素材やその色彩を用いることで、中山道らしいまちなみに調和します。
【関連：作法4・8】

屋根形状
勾配屋根として傾斜方向を意識することで、屋根の並びが揃った伝統的なまちなみに調和します。
【関連：作法7】

建築物等の配置
建築物や、門・塀・柵等の壁面線を揃えることで、まちなみに連続性が生まれます。
【関連：作法1】

道路
統一的な舗装により、中山道のつながりがわかります。
【関連：作法13】

ひさし
軒の出のあるひさしを設けることで、陰影のある情緒的なまちなみになります。
【関連：作法3】

緑化・屋外付帯物
限られスペースでも、工夫により緑化や中山道らしい演出が可能です。
【関連：作法10・18】

サイン
統一的なサインを計画することで、歩きやすい中山道になります。
【関連：作法15】

起伏のある場所のイメージ

屋根形状・眺望
 勾配屋根として素材・色彩を意識することで見下ろしたときの景観が美しくなります
 【関連：作法 7・12】

建築物の高さ
 伝統的な建築物の高さに配慮することで、背景の山なみに調和したまちなみになります。
 【関連：作法 2】

屋外付属設備
 室外機等を中山道に面して設置する場合は木の柵等で覆うことで配慮できます。
 【関連：作法 9】

ひさし
 軒の出のあるひさしを設けることで、陰影のある情緒的なまちなみになります
 【関連：作法 3】

建築物等の配置
 生垣や昔ながらの素材の門・塀・柵等を設けることで、通りから見たときの一体感がうまれます。
 【関連：作法 1】

太陽光発電設備
 地形や眺めに配慮することで、昔からの景観を守ることができます
 【関連：作法 19】

サイン
 統一的なサインを計画することで、歩きやすい中山道になります。
 【関連：作法 15】

道路
 統一的な舗装により、中山道のつながりがわかります。
 【関連：作法 13】

緑化
 道路に面して緑を置くことで、蛇行や起伏する中山道に沿って緑の道が連続します
 【関連：作法 18】

外壁・屋根の素材・色彩
 昔ながらの素材やその色彩を用いることで、中山道らしいまちなみに調和します。
 【関連：作法 4・8】

視界の開けた場所のイメージ

外壁・屋根の素材・色彩
昔ながらの素材やその色彩を用いることで、中山道らしいまちなみに調和します。
【関連：作法 4・8】

屋根形状
勾配屋根として傾斜方向を意識することで、屋根の並びが揃った伝統的なまちなみに調和します
【関連：作法 7】

建築物の高さ
伝統的な建築物の高さに配慮することで、背景の山なみに調和したまちなみになります。
【関連：作法 2】

眺望
見渡せる範囲にある建築物は作法を意識することで、周辺環境と調和します
【関連：作法 11】

水路
地域の資源である水路は開水路としておくことで、地域の魅力が高まります
【関連：作法 14】

太陽光発電設備
地形や眺めに配慮することで、昔からの景観を守ることができます
【関連：作法 19】

道路
統一的な舗装により、中山道のつながりがわかります。
【関連：作法 13】

緑化
敷地内に緑を設けることで、背景の山なみとの緑のつながりが生まれます。
【関連：作法 18】

サイン
統一的なサインを計画することで、歩きやすい中山道になります。
【関連：作法 15】

ひさし
軒の出のあるひさしを設けることで、陰影のある情緒的なまちなみになります
【関連：作法 3】

屋外付属設備
室外機等を中山道に面して設置する場合は木の柵等で覆うことで配慮できます。
【関連：作法 9】

建築物等の配置
生垣や昔ながらの素材の門・塀・柵等を設けることで、通りからみたときの一体感がうまれます。
【関連：作法 1】

(2) 空間演出の作法

空間演出の心得に基づき、魅力ある中山道の印象を高めていくためのポイントを「作法」とします。

建築や開発行為を行う場合の中山道の景観を考える材料のひとつとして、建築物とランドスケープに関して下記の19の作法を挙げています。具体的な内容は、後述の「(3) 建築物の空間演出方針」、「(4) ランドスケープの空間演出方針」で解説をします。

■心得と作法の体系

作 法		心 得										地 域				
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	坂本	中津	落合	馬籠	
建築物の空間演出方針	1 配置	敷地に配慮して建築物を配置することで、まちなみの一体感が生まれます	⇒ ●	●									●	●	●	●
	2 高さ	周辺の建築物と調和した高さとする事で、中山道らしい規模のまちなみとなり、一体感が生まれます	⇒ ●	●									●	●	●	●
	3 ひさし	軒の出のあるひさしを設けることで、陰影のある情緒的なまちなみになります	⇒ ●	●									●	●	●	●
	4	昔ながらの素材やその色彩を用いることで、落ち着いた中山道らしいまちなみに調和します	⇒ ●	●		●	●						●	●	●	●
	5 外壁	商業地においては、効果的に色彩を用いることで、おもむきとにぎわいが演出できます	⇒ ●	●	●									●		
	6	計画的に維持管理を考えることで、愛着のもてる建築物を良好な状態に保つことができます	⇒ ●										●	●	●	●
	7 屋根	勾配屋根として傾斜方向を意識することで、屋根の並びが揃った伝統的なまちなみに調和します	⇒ ●	●		●	●						●	●	●	●
	8	昔ながらの素材やその色彩を用いることで、屋根の並びが美しいまちなみに調和します	⇒ ●	●		●	●						●	●	●	●
	9 屋外付帯設備	中山道に面する部分に配慮することで、中山道の空間の質が高まります	⇒ ●	●									●	●	●	●
	10	軒下のわずかなスペースでも椅子を配置すると、かつての中山道を思い起こさせる演出ができます	⇒ ●										●	●	●	●
	11 眺望	視界の開けた場所では、見渡せる範囲にある建築物は作法を意識することで、周辺環境と調和します	⇒ ●	●		●	●						●			
	12	起伏のある場所では、屋根を意識することで、見下ろしたときの景観が美しくなります	⇒ ●	●		●	●								●	●
ランドスケープの空間演出方針	13 道路	道路の統一的な保全・整備により、道のつながりが演出できます	⇒					●	●				●	●	●	●
	14	水路を資源として捉えて大切にすることで、地域の魅力が高まります	⇒							●			●	●	●	●
	15 サイン	統一的なサインを計画することで、歩きやすい中山道になります	⇒					●	●				●	●	●	●
	16	和のしつらいを整えることで、にぎわいが演出できます	⇒					●			●		●	●	●	●
	17 ライトアップ	効果的なライトアップにより、時代を偲ばせる情緒的な光の演出と安全性の両立ができます	⇒						●	●	●		●	●	●	●
	18 緑化	“緑”の選定と配置をすることで、季節の変化や時間の移ろいが感じられます	⇒					●			●		●	●	●	●
	19 太陽光	中山道の地形や眺めに配慮することで、昔からの景観を守ることができます	⇒									●	●	●	●	●

(3) 建築物の空間演出方針

① 建築物の配置 ⇒敷地別の配慮の仕方

作法 1 敷地に配慮して建築物を配置することで、まちなみの一体感が生まれます

【 心得 ① ② 】

■ 建築物の配置

< 短冊形の敷地の場合 >

通りに面して間口の狭い建築物が密集する短冊形の敷地の場合には、建築物と通りの距離が近くなっています。同様な建築物の配置にすることで、通りから見たときに一体感が生まれます。

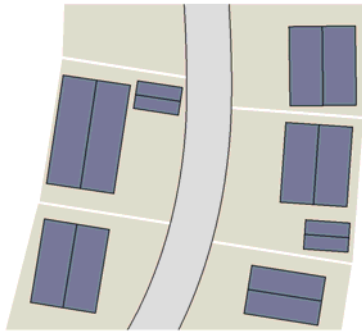


▲ 短冊形の敷地例

短冊型の敷地では、建築物と通りの距離が近くなっています。町家形式の家屋も多く、屋根方向の揃った狭い間口の建築物が連続する一体的な景観が形成されています。

<短冊型ではない敷地の場合>

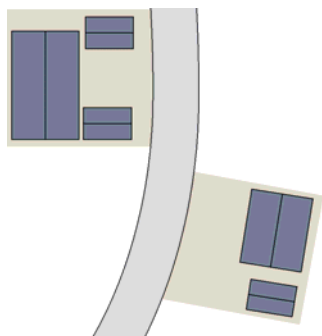
市街地部の広さにゆとりのある敷地の場合には、通りから建築物の距離をとり、その間を庭や生垣等で緑化や、門塀等で仕切る場合が多くみられます。周辺の敷地で緑化が多い場合には、緑が連続するように庭や生垣などで緑化をすると、通りから見たときに一体感が生まれます。門塀等を設ける場合は、伝統的な建築物に配慮した素材や形式とすることで、周辺の環境に調和します。



▲短冊型ではない敷地（市街地部）

市街地部における短冊型ではない敷地では、農家住宅形式の家屋と庭によるのびやかな景観が形成されています。

農村部の広さにゆとりのある敷地の場合においても、市街地部の広さにゆとりのある敷地の場合と同様の配慮をすることで、周辺環境に調和します。また、農村部の場合には、田園や田畑などによりそれぞれの敷地が飛び地になっているため、建築物の正面だけでなく、側面のデザインや色彩は中山道のまちなみに大きく影響します。

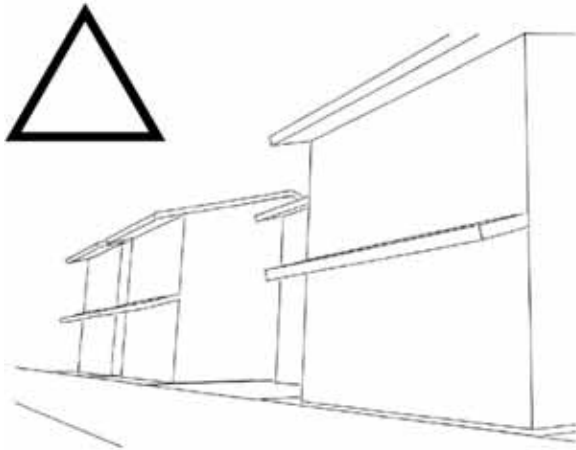


▲短冊型ではない敷地（農村部）

農村部における短冊型ではない敷地では、農家住宅形式の敷地と田園などにより、広がりのある景観が形成されています。

■門塀の配置

道路に面して駐車場等を設けたい場合は、伝統的な建築物に配慮した素材や形式の柵や塀、又は、生垣や竹垣などを設けることで、壁面線の位置がそろい、連続したまちなみが形成されます。



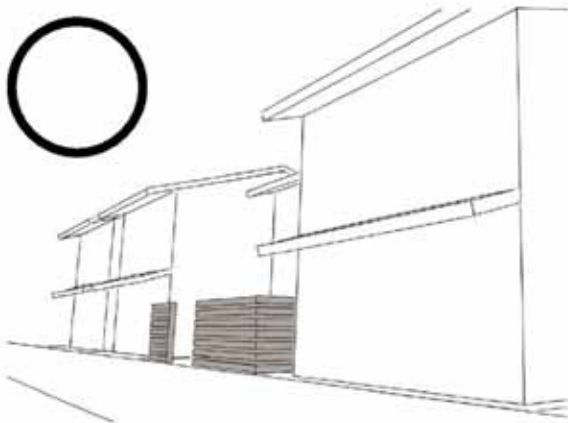
▲門塀、生垣なし

建築物の前面にスペースが空くと、建築物の壁面線が分断して見えます。



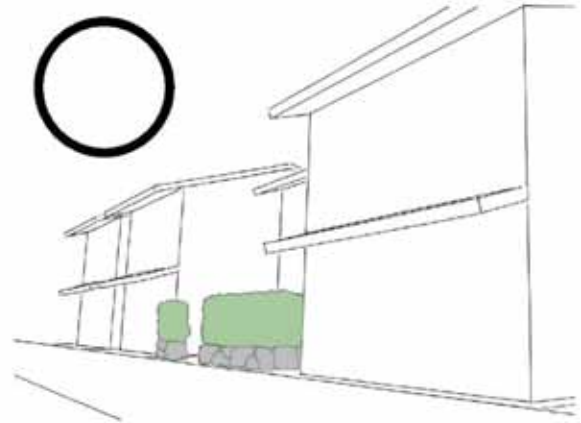
▲縦格子の設置

柵を設けることで、建築物の壁面線がそろい、景観に統一感ができます。縦格子の場合は、伝統的な家屋の外壁に調和します。



▲横格子の設置

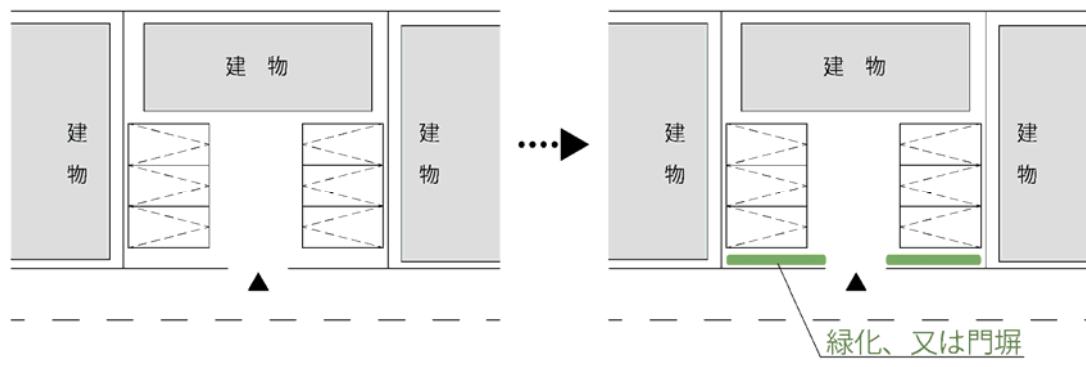
横格子の場合も壁面線の統一に有効です。現代的な建築物にも調和します。



▲生垣の設置

生垣を設置すると、景観に潤いを与えながら壁面線をそろえることができます。また、屋内から外の眺めも良くなります。

商業施設は、その用途のために、通りに面して駐車場を付属する場合も多く、多様な配置構成の建築物が並び、通りの一体感が感じにくくなっています。建築物と通りの距離を近くした配置とすることで、中山道らしいまちなみになります。道路に面して駐車場を設けたい場合は、伝統的な建築物に配慮した素材や形式の柵や塀、又は、生垣や竹垣などを設けることで、壁面線の位置がそろいます。



▲商業地における壁面線の統一

駐車場の出入り口以外の部分を緑化、又は門塀を設けることで壁面線がそろいます。

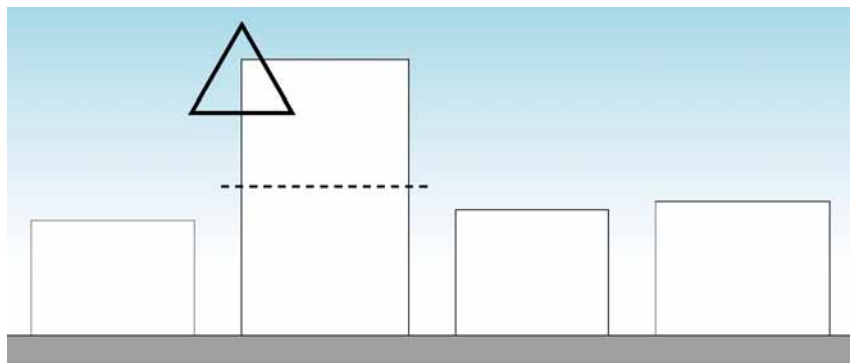
② 建築物の高さ

作法 2

周辺の建築物と調和した高さとすることで、中山道らしい規模のまちなみとなり、一体感が生まれます

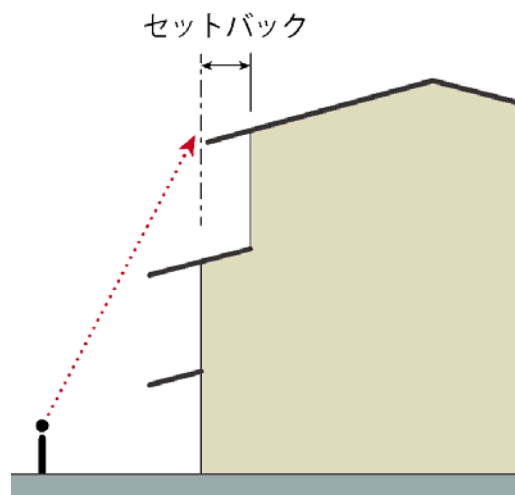
【 心得 ① ② 】

江戸時代から続く中山道においては、大きすぎる規模の建築物は建てないようにし、昔から引き継がれてきている中山道らしい規模を大切にします。また、道路に面する3階以上の部分の壁面は、道路幅員との関係を考慮し、2階の壁面よりも後退させることで、通り側への圧迫感を軽減できます。



▲建築物の高さへの配慮

高さを低くそろえることで、中山道らしい規模のまちなみになります。



▲3階以上の壁面後退（セットバック）

3階以上をセットバックすることで、通りから見た圧迫感が軽減されます。

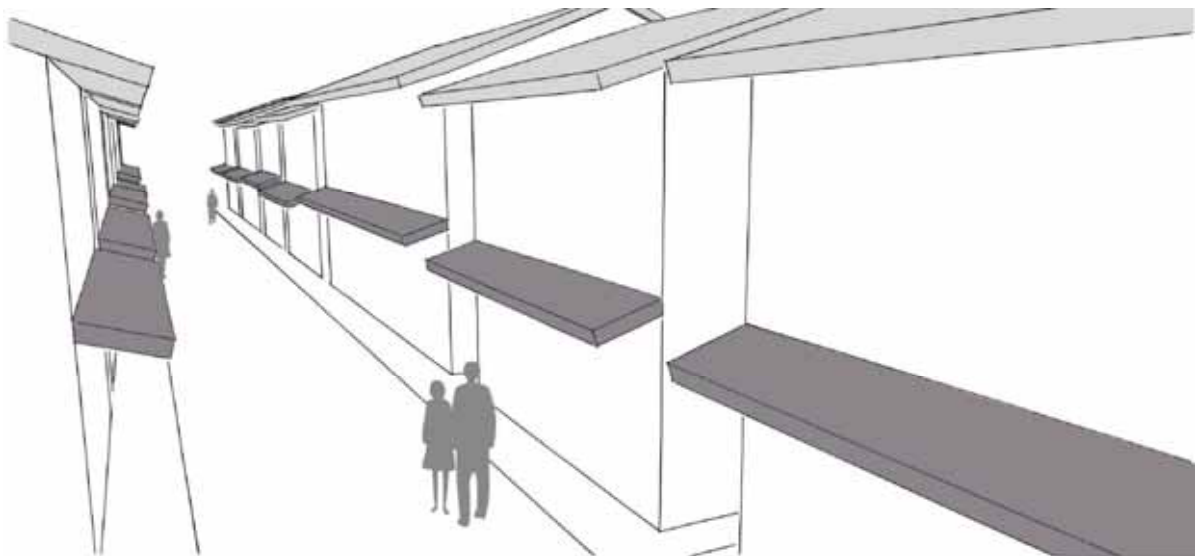
③ ひさし

作法 3 軒の出のあるひさしを設けることで、陰影のある情緒的なまちなみになります

【心得 ① ②】

中山道沿いの建築物には、伝統的な建築物が多く残っており、多くには軒の出のあるひさしがついています。1階に軒の出のあるひさしを設けることで、陰影のある情緒的なまちなみに調和します。

【関連：作法 8 昔ながらの素材やその色彩を用いることで、屋根の並びが美しいまちなみに調和します】



▲軒の出のあるひさし

中山道沿道には、軒の出のあるひさしが多く残ります。



▲ひさしの連続するまちなみ

ひさしは建築物に影を落として陰影をつくり、情緒的なまちの景観を形成します。



▲商業施設におけるひさしの設置例

商業施設においてもひさしを設置することで、中山道の情緒を取り入れることができます。

④ 外壁の素材・色彩

作法 4

昔ながらの素材やその色彩を用いることで、落ち着いたある中山道らしいまちなみに調和します

【 心得 ① ② ④ ⑤ 】

■素材

外壁の素材は、木材、土塗壁、漆喰といった昔ながらの素材を用いることで中山道らしい落ち着いたあるまちなみになります。製品によっては、板張り風の金属板や木目調のサイディングなどもあり、上手に組み合わせることで、現代的な建築物に中山道の情緒を取り入れることができます。

また、昔ながらの素材に加えて、ガラス、コンクリート、鉄などの新しい素材を上手に組み合わせることで、中山道の情緒を残しながら、新しい価値をもつ建築物として活用していくことも可能です。



▲伝統的な建築物例（落合宿本陣）

伝統的な家屋の要素を取り入れることで、中山道らしさが演出できます。

<伝統的な建築物の外壁例>



板張り



漆喰及びなまこ壁

<伝統的な建築物に配慮した外壁例>



板張り風の金属板



木材と吹付け



木目調のサイディング

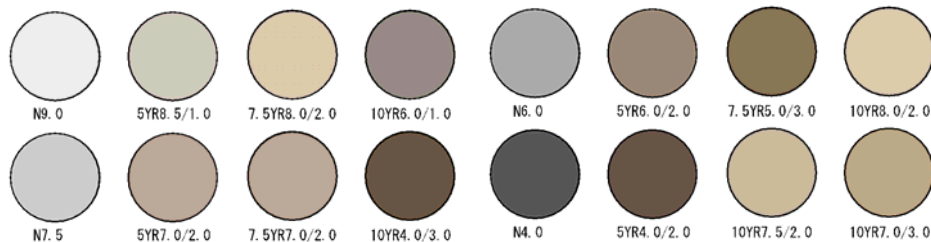


▲素材の組み合わせ例（左：ラボラトリー（落合宿）、右：ゲストハウス（中津川宿））

伝統的な家屋をリノベーションしています。昔ながらの素材のなかに大きなガラス面を設けるなど、積極的に新しい素材を使用していますが、中山道の情緒が保たれています。

■色彩

費用面や、建築物の意匠などの要因から、木材、土塗壁、漆喰などの昔ながらの素材を使用することが困難な場合には、黒、茶、白を中心とした素材に準じた色彩を使用することで現代的な建築物に中山道の情緒を取り入れることができます。



▲外壁の色彩例（景観計画重点区域における推奨色）

外壁に使用する素材の質感を考慮し、背景となる空と水と緑に調和した色彩とすることで、周辺の景観に調和します。



▲外壁の非推奨色例

過度に鮮やかで明るい色彩や、昔ながらの素材から離れた色彩、又は、コントラストの強いデザインの外壁は、中山道の情緒的な雰囲気と調和しない場合があるので注意が必要です。

作法5

商業地においては、効果的に色彩を用いることで、おもむきにぎわいが演出できます

【心得 ① ② ③】

外観は、歩行者の目に入りやすい2階までについて配慮することで、商業地においても中山道らしさを演出することができます。外壁は、木や漆喰といった昔ながらの素材、又は、素材に準じた色彩を用いることで中山道の情緒を取り入れることができます。

【関連：作法15 統一的なサインを計画することで、歩きやすい中山道になります】



▲2階までの外観配慮イメージ

2階までの外観に配慮することで、中山道の情緒や規模を取り入れることができます。

作法 6

計画的に維持管理を考えることで、愛着のもてる建築物を良好な状態に保つことができます

【心得 ①】

新築時の建築物が美しいのはもちろんのこと、10年後、20年後まで良い状態を保てるよう、維持管理のしやすい外壁材や、自分にあった維持管理方法をあらかじめ考えておきましょう。大切に使うほど建築物に愛着がもて、質の良い建築物は質の良い景観をつくります。

<主な外壁材の維持管理方法>

① サイディング*

- メリット： ・製品の価格帯が豊富
・デザインのバリエーションが豊富
- デメリット： ・製品の入れ替わりが激しく、同じ材料が手に入りにくい
・コーキング（目地材）が劣化しやすい
・塗装補修をすると、最初の質感が失われる



② 左官塗装

- メリット： ・吹付け直しや、吹付け材を塗るなど、自分で補修することが可能
・補修により最初の質感を保つことができる
- デメリット： ・外壁がよごれやすい
・補修に手間がかかる



③ 木材

- メリット： ・質の良い外観にすることができる
・経年による色の変化を楽しむことができる
・オイルステイン*などによる塗装など、方法によっては自分で補修することが可能
- デメリット： ・品質が価格により、安価なものは劣化が激しい



※サイディングとは …板状の外壁材であり、建築物の外側から張り付けて使用する。目地にはコーキングにより隙間を埋める。
※オイルステインとは…主に木材に使用する塗料であり、塗膜ができないため、木目をのこした塗装ができる。



▲木目調のサイディング

本物の木材と擬木や木目調のサイディングを組み合わせることで、全体が本物らしくなります。

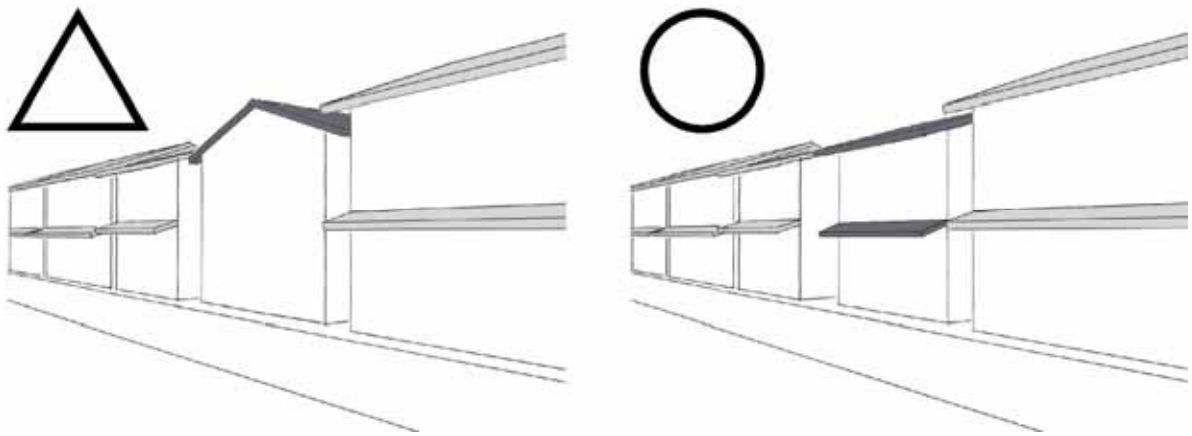
⑤ 屋根形状

作法 7

勾配屋根として傾斜方向を意識することで、屋根の並びが揃った伝統的なまちなみに調和します

【 心得 ① ② ④ ⑤ 】

伝統的な建築物が多く残る中山道では、勾配屋根とするとその情緒を取り入れることができます。屋根は通りに向けて傾斜しているものが多いですが、蔵や一部の伝統的な建築物では例外もみられます。屋根の方向は、周辺の伝統的な建築物の状況が参考になります。



▲屋根勾配への配慮

市街地においては、切妻屋根として、屋根が中山道側に傾斜している形態が多くみられます。そのような場所では、勾配屋根として、屋根を中山道側に傾斜させることで景観に調和し

	勾配あり				勾配なし
	入母屋	寄	切妻	片流れ	陸屋根
屋根形式					
景観への配慮	◎	◎	◎	△	×

▲主な屋根形式と中道における景観への配慮

屋根には様々な種類がありますが、伝統的な家屋に多くみられるのは、入母屋屋根、寄屋根、切妻屋根等です。



▲現代的な建築物のまちなみ

軒の出のあるひさしや、勾配屋根を取り入れることで、現代的な建築物に情緒が生まれます。



▲伝統的な家屋との調和

作法を意識することで、現代的な建築物と伝統的な家屋が調和します。

⑥ 屋根の素材・色彩

作法 8

昔ながらの素材やその色彩を用いることで、屋根の並びが美しいまちなみに調和します

【 心得 ① ② ④ ⑤ 】

■ 素材

屋根やひさしの素材は、落ち着きのある質感のものとし、日本瓦やその他の瓦、又は、日本瓦の色彩の素材を用いると、中山道の情緒を取り入れることができます。

【関連：作法 3 軒の出のあるひさしを設けることで、陰影のある情緒的なまちなみになります】

<日本瓦、又は日本瓦に類する素材>



日本瓦

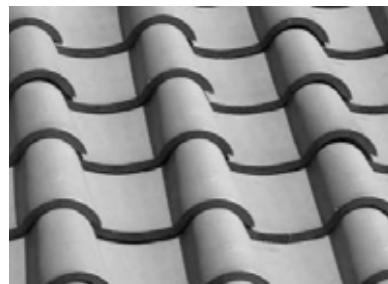


日本瓦風のガルバリウム鋼板

<日本瓦以外の瓦>

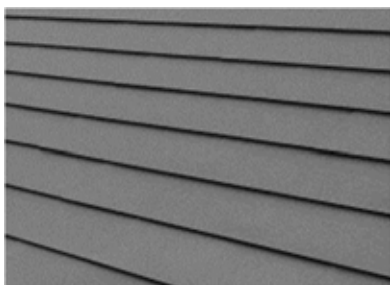


平板瓦

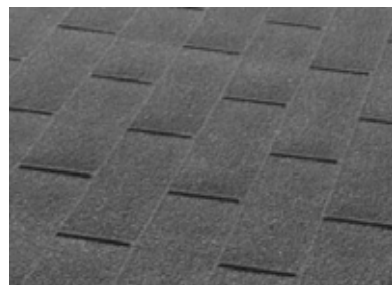


スパニッシュ瓦

<瓦以外の屋根材>



金属製屋根



スレート



アスファルト・シングル

■ 色彩

費用面や、建築物の意匠などの要因から、瓦などの昔ながらの素材を使用することが困難な場合には、黒、茶、白を中心とした素材に準じた色彩を使用することで現代的な建築物に中山道の情緒を取り入れることができます。



▲ 屋根の色彩例（景観計画重点区域における推奨色）

屋根に使用する素材の質感を考慮し、背景となる空と水と緑に調和した色彩とすることで、周辺の景観に調和します。



▲ 非推奨例

光を反射する金属製屋根や、瓦であっても色彩によっては、中山道の情緒的な雰囲気と調和しない場合があるので注意が必要です。

⑦ 屋外付帯設備

作法9 中山道に面する部分に配慮することで、中山道の空間の質が高まります

【心得①②】

中山道に面して屋外付帯設備の設置は避けましょう。設置の場合には、伝統的な建築物に配慮した素材や色彩の壁、ルーバー等で屋外付帯設備の周囲を覆うようにすると、中山道の空間の質が高まります。



▲灯油タンクの配慮

灯油タンクを中山道に接する部分への設置を避け、さらに格子の奥にするなどの配慮をしています。



▲室外機の配慮

外壁の色調に配慮した格子をつけることで、室外機が伝統的な家屋に調和します。

自動販売機は、景観に配慮した色彩、デザインのものも多く、そのような製品を積極的に選択することで、中山道の空間の質が高まります。



▲自動販売機の配慮

木目調や、茶系、ベージュ系として、自動販売機も景観に配慮することができます。



作法 10

軒下のわずかなスペースでも椅子を配置すると、かつての中山道を思い起こさせる演出ができます

【 心得 ① 】

昔の中山道では、ひさしが雨宿りの場所であったように、現代においても軒下に休憩スペースを設けることで、歩行者は中山道らしさを体験することができます。商業地などの場所によっては、にぎわいを創出できます。



▲軒下のベンチ（左：落合宿の例、右：馬籠宿の例）

軒下のベンチは、中山道におけるひさしの役割を継承し、にぎわいを創出します。

作法 11

視界の開けた場所では、見渡せる範囲にある建築物は作法を意識することで、周辺環境と調和します

【 心得 ① ② ④ ⑤ 】

農村部においては、建築物と田園や田畑、遠方の山々による広がりのある景観を形成し、中山道から奥まったところにある建築物も視界に入ります。そういった建築物は、屋根の形状と色彩、外壁の色彩に係る作法に配慮することで、現在の美しい景観を保つことができます。



▲広がりのある景観（遠景）

田園が広がる場所では、水平に広がりをもつ景観を形成し、遠方の山々が良く見えます。



▲広がりのある景観（近景）

田園により建築物の間隔はまばらですが、緑が多く、うるおいのある景観を形成しています。

作法 12

起伏のある場所では、屋根を意識することで、見下ろしたときの景観が美しくなります

【 心得 ① ② ④ ⑤ 】

起伏のある地形の場所では、見下ろしたときに遠方の山々や棚田、建築物の屋根からなる美しい景観を形成します。建築物については、屋根の形状と色彩に係る作法に配慮することで、現在の美しい景観を保つことができます。



▲見下ろす景観

起伏のある場所では、見下ろしたときに水平と垂直の方向に広がりをもつ景観を形成します。遠方の山々や棚田のほか、建築物の屋根がよく見えます。



(4) ランドスケープの空間演出方針

①道路

作法 13 道路の統一的な保全・整備により、道のつながりが演出できます

【心得⑥ ⑦】

中津川市における中山道の舗装の多くは地道風となっており、中山道の情緒を取り入れながらその存在を示しています。交差点部を含めた未舗装区間を今後も整備していくことで、より中山道のつながりを演出することができます。



▲中山道の舗装

中山道では、ロードアスファルト舗装によって地道風の舗装としています。これによって、中山道らしい情緒を演出するとともに、歩行者が中山道だと認識しやすくなっています。



色彩パターン（赤×白）



色彩パターン（黄×白）

▲色彩パターン

中山道のカラーは、場所によって骨材の色彩を変えています。

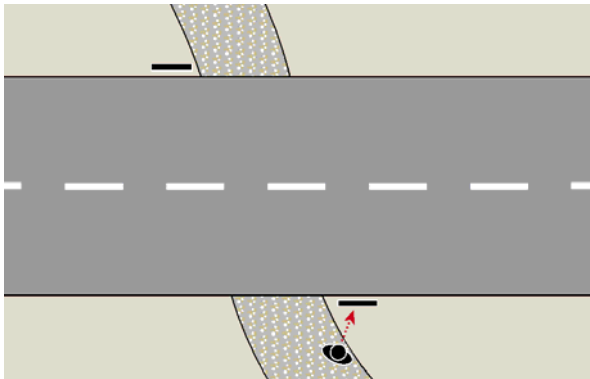


▲水道管工事の補修

ロードアスファルト舗装では、水道管工事などのあとの補修においても現状に近い形での復旧が可能です。

大きい道路との交差点部など、中山道の地道風の舗装が困難な場所がみられます。また、通学路を示す緑色のラインは、中山道を歩く観光客を誤って誘導している場合があります。そのような場所では、多言語対応の誘導サインを設置することで、歩きやすい中山道になります。

【関連：作法 15 統一的なサインを計画することで、歩きやすい中山道になります】



▲道路との交差点部

地道風の舗装が途切れる部分には、誘導サインを設置し、安全に渡れるルートへ誘導します。

カーブミラーやガードレールなどの道路付属物は、色彩を落ち着いたものとする事で、景観に配慮することができます。



▲カーブミラー、ガードレールの色彩配慮例
茶系の落ち着いた色彩により、周辺の山々や田園への景観に調和しています。



▲歩道橋の色彩配慮例
茶系の落ち着いた色彩により、圧迫感が軽減され、景観にも調和しています。

作法 14 水路を資源として捉えて大切にすることで、地域の魅力が高まります

【 心得 ⑨ 】

一部の地域では、中山道に水路のある水と石の景観を形成しています。水路の劣化や破損が生じた場合には、石の素材や積み方に配慮して修理をすることで、資源である水路を大切に継承し、地域の魅力が高まります。

今後、劣化などにより石積みが損傷した場合には、原状復帰、又は、積み方に配慮した修理をすることで、地域特有の資源を継承していくことができます。原状復帰が難しい場合においても水路を閉じることなく開水路としておくことで、情緒的な景観を継承していくことができます。



▲石張りによる水路（落合宿）

水路は地域特有の景観をつくります。石張りなどの素材にすることで景観に配慮することができます。



▲水路（中津川宿）

水とふれあえる親水の間を設けることで、歩行者にうるおいのある空間を提供します。



▲情緒的な水路の演出（各務原市 鵜沼宿の取り組み例）

水路に水草を植栽し、うるおいと情緒のある景観を演出しています。



②サイン

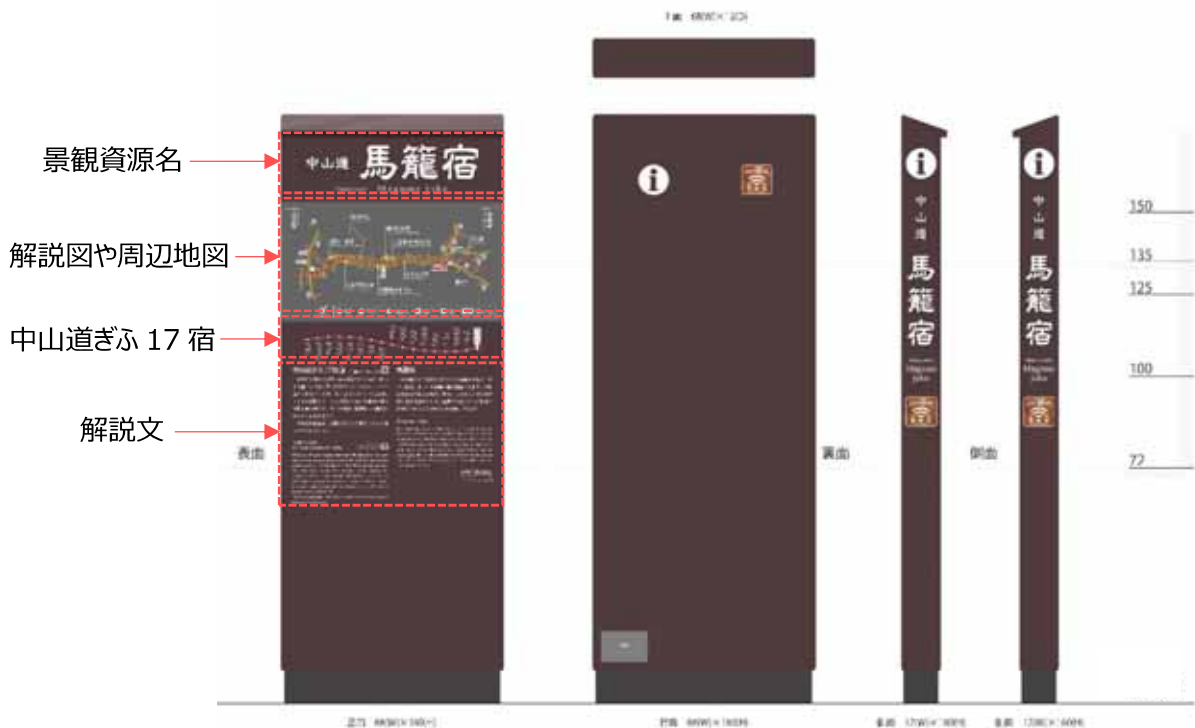
作法 15 統一的なサインを計画することで、歩きやすい中山道になります

【 心得 ⑥ ⑦ 】

中山道沿道の公共サインとして、主要場所の周辺を地図で案内する総合案内サイン、目的地へ誘導する誘導サイン、景観資源や事柄等を解説する解説サインなどがみられます。「岐阜の宝もの」である「中山道ぎふ17宿」について統一的なデザインとすることで、わかりやすさだけでなく、中山道の情緒的な雰囲気の創出に役立ちます。サインデザインは、岐阜県「歴史街道観光推進のための歴史解説サインガイドライン（以下、「サインガイドライン」と言う。）」に準じることで、中山道全体で統一になります。

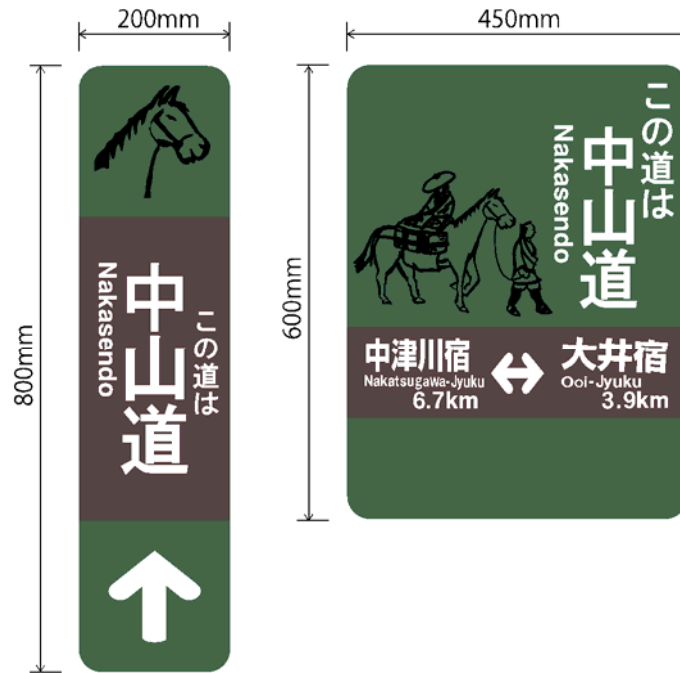
中山道沿道の総合案内・解説サインは、圧迫感のない大きさ・高さとして周辺の景観に馴染み、主張しすぎないように配慮します。また、中津川市の多様な地形や土地利用にあわせて、多様な設置場所に対応するものとします。また、歴史的な施設やその跡地や珍しい樹木についても、解説サインを設置することで、歩行者が歩いて楽しめる道になります。

■サインデザイン例



▲総合案内・解説サイン例

中山道沿道の総合案内・解説サインは、サインガイドラインの「歴史解説サイン」に準じることで、中山道のつながりとわかりやすさが向上します。



▲誘導サイン例

誘導サインは、サインガイドラインに沿って作成された県資料の「中山道案内標識」のデザインに準じることで、中山道のつながりとわかりやすさが向上します。上部に中山道イメージイラスト（馬）を表示しています。

出典：歴史街道観光推進のための歴史解説サインガイドライン（H30.8 岐阜県商工労働部観光国際局観光企画課）

落ち着いたある外壁の色彩をベースカラーとして、商業地におけるサインを和風の色彩でアクセントカラーとすることで、にぎわいと中山道らしさの両方を演出することができます。地域や商店のまとまりごとに自ら推奨色を定めて統一的なサインを設置することで、まちなみに統一感を演出することができます。サインは、外壁面に対して多くなりすぎないようにバランスをとるなど、色彩を有効に使用することで、歩行者から見た印象やみやすさが向上します。

【関連：作法5 商業地においては、効果的に色彩を用いることで、おもむきとにぎわいが演出できます】



▲2階までの外観に配慮のイメージ（民間サイン）

和色名のついた色彩を効果的に用いることで、質の高いにぎわいを演出できます。

R	Y	G	B	P
臙脂 えんじ 4R4/11	芥子色 からしいろ 3Y7/6	萌葱色 もえぎいろ 5.5G3/5	納戸色 なんどいろ 4B4/6	古代紫 こだいむらさき 7.5P4/6
YR	GY	BG	PB	RP
檜皮色 ひわだいろ 1YR4.3/4	抹茶色 まっちゃいろ 2GY7.5/4	青竹色 あおたけいろ 2.5BG6.5/4	藍色 あいろ 2PB3/5	鴉色 ときいろ 7RP7.5/8

▲和風の色彩例（民間サイン）

色彩は見る人に様々なイメージを与えてくれます。多様な色彩のうち、日本固有の和色名のついた色彩も多くあります。

作法 16 和のしつらいを整えることで、にぎわいが演出できます

【 心得 ⑥ ⑨ 】

和を意識したデザインを取り入れることで、中山道らしいにぎわいを演出することができます。また、中山道沿いで統一したデザインのものを使用することで、中山道の一体感を演出することができます。



▲のれん（左：落合宿、右：中津川宿）

落合では、各住宅の玄関に藍染めの手作りののれんをかけています。和の雰囲気とにぎやかさが演出されるとともに、中山道の一体感が感じられます。

③ライトアップ

作法 17

効果的なライトアップにより、時代を偲ばせる情緒的な光の演出と安全性の両立ができます

【 心得 ⑦ ⑧ ⑨ 】

暖色系の光源は、ろうそくの明かりで照らしていた昔の中山道を思い起こさせ、和紙や竹、木などの自然素材を活かしたデザインは昼間とは違った情緒的な雰囲気を創出します。



▲竹あかりアート（中津川宿）

竹を活用して作成したあかりによる和と光の演出がされています。



▲氷雪の灯祭り（馬籠宿）

氷のかまくらを使用したライトアップにより、情緒的な演出がされています。



▲ライトアップイメージ

統一的な光源を用いることで、一体感のある空間を演出できます。特に、暖色系の光は、情緒的な雰囲気を創出します。

④緑化（推奨木）

作法 18 “緑”の選定と配置をすることで、季節の変化や時間の移ろいを感じられます

【 心得 ⑥ ⑨ 】

中山道沿道では、緑化された敷地が連続し、中山道に沿って緑のラインがつくられており、うるおいのある空間を形成しています。

通りと建築物の距離が近く、壁面線の揃うまちなみにおいても、プランターでの植栽や敷地境界の緑化が可能です。



▲推奨木を使用した庭のイメージ



▲沿道の緑化（中津川宿）

こまちの会で設置した道路沿いの緑は、空間にうるおいを与えています。



▲敷地境界の帯状の緑化（落合宿：クマザサ）

わずかなスペースでも、緑化方法や樹木の種類を適切に選択することで、美しい緑化が可能です。

敷地にゆとりのある場合は、積極的に生垣や庭木を設けることでうるおいのある空間をつくる事が可能です。



▲連続する緑

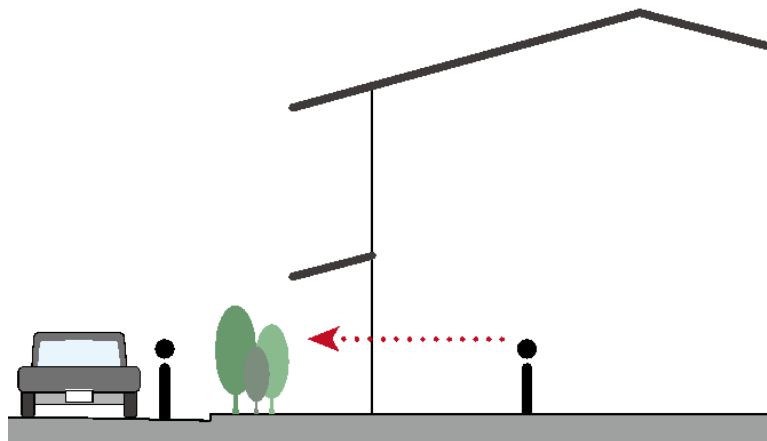
視界が開ける場所からの眺めでは、敷地奥の高木と背景の山並みとで緑のつながりがみられます。



▲連続する緑

起伏のある場所の眺めでは、道路に面する場所に緑を置くことで、蛇行や起伏する中山道に沿って緑の道が連続する景観をつくれます。

生垣や庭木等の緑化は、通りから見たときの一体感を与えてくれるだけでなく、歩行者からの視線を遮り、屋内からの窓の景色にうるおいをもたらします。



▲敷地境界の緑化による効果

敷地境界の緑化は、室内からの景色を美しいものとし、開放的な室内環境を整えます。

(参考) 庭木例

樹木				備考
やまざくら 	幹はほぼまっすぐに育つ 【常緑】落葉 【広葉】広葉	【高木】高木 【樹高】10m	【陰陽】陽樹 【成長】速い 【移植】移植中庸	花木 大枝選定は避ける
こなら 	幹はまっすぐ伸びるが株立ちになるものもある 【常緑】落葉 【広葉】広葉	【高木】高木 【樹高】15m	【陰陽】陽樹 【成長】中庸 【移植】移植中庸	食餌植物※ やや日陰に耐える
そよご 	丸形で幹はまっすぐに育つ 【常緑】落葉 【広葉】広葉	【高木】高木 【樹高】5~8m	【陰陽】中庸樹 【成長】遅い 【移植】移植容易	実物※ 食餌植物※ 雌雄異株※
あおだも 	幹はまっすぐに育つ 【常緑】落葉 【広葉】広葉	【高木】高木 【樹高】15~25m	【陰陽】陽樹 【成長】中庸 【移植】移植中庸	雌雄異株※
まんさく 	根元から枝分かれして大きく育つ 【常緑】落葉 【広葉】広葉	【高木】高木 【樹高】5~10m	【陰陽】中庸樹 【成長】中庸 【移植】移植容易	夏、日射に弱い
こうやまき 	幹はまっすぐに伸び円錐形になる 【常緑】常緑 【広葉】針葉	【高木】高木 【樹高】30~40m	【陰陽】陰樹 【成長】中庸 【移植】移植困難	樹形が美しい 壮年後は陽樹
はなのき 	幹はまっすぐに伸び、大きく育つ 【常緑】落葉 【広葉】広葉	【高木】高木 【樹高】20~25m	【陰陽】- 【成長】- 【移植】-	雌雄異株※
すぎ 	幹はまっすぐに育つ 【常緑】常緑 【広葉】針葉	【高木】高木 【樹高】40m	【陰陽】陽樹 【成長】速い 【移植】移植困難	生垣 刈込物 食餌植物※ 幼樹耐陰性
くろまつ 	幹は曲がり枝が張り出す 【常緑】常緑 【広葉】針葉	【高木】高木 【樹高】35m	【陰陽】陽樹 【成長】速い 【移植】移植中庸	食餌植物※ 松くい虫の害大 大木移植可能
あかまつ 	幹はまっすぐかや曲がる 【常緑】常緑 【広葉】針葉	【高木】高木 【樹高】30m	【陰陽】陽樹 【成長】速い 【移植】移植中庸	松くい虫の害大
ひとつばたご 	幹はまっすぐに伸び、大きく育つ 【常緑】落葉 【広葉】広葉	【高木】高木 【樹高】4~20m	【陰陽】- 【成長】- 【移植】-	雌雄異株※

樹木				備考
いろはもみじ 	幹は曲がって伸び枝が広がる 【常緑】落葉 【広葉】広葉	【高木】高木 【樹高】10m	【陰陽】陽樹 【成長】速い 【移植】移植容易	紅葉、鑑賞
さらさどうだん 	根元から枝分かれする 【常緑】落葉 【広葉】広葉	【高木】低木 【樹高】4~5m	【陰陽】陽樹 【成長】遅い 【移植】移植容易	花木 大枝選定は避ける
しでこぶし 	幹はまっすぐに伸び卵型にまとまる 【常緑】落葉 【広葉】広葉	【高木】低木 【樹高】3~4m	【陰陽】- 【成長】- 【移植】-	



しでこぶし



もみじ



ひとつばたご



さらさどうだん

- ※食餌植物とは …生き物の餌となる植物
- ※実物とは …実をつけ鑑賞用となるもの
- ※雌雄異株とは …雄花と雌花が異なる株になるもの

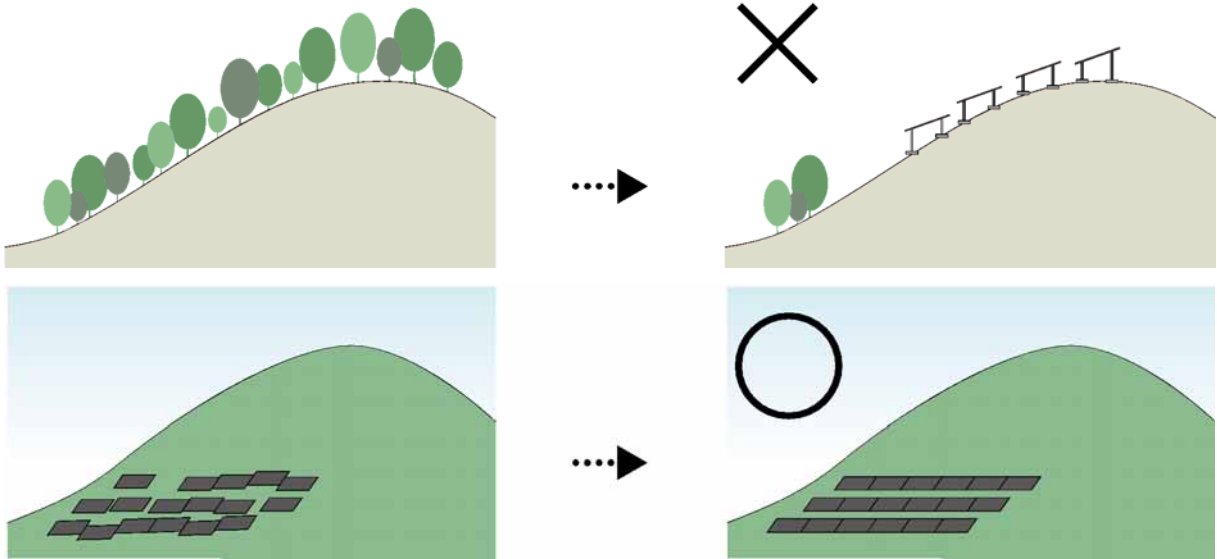
⑤太陽光発電設備

作法 19 中山道の地形や眺めに配慮することで、昔からの景観を守ることができます

【心得 ⑩】

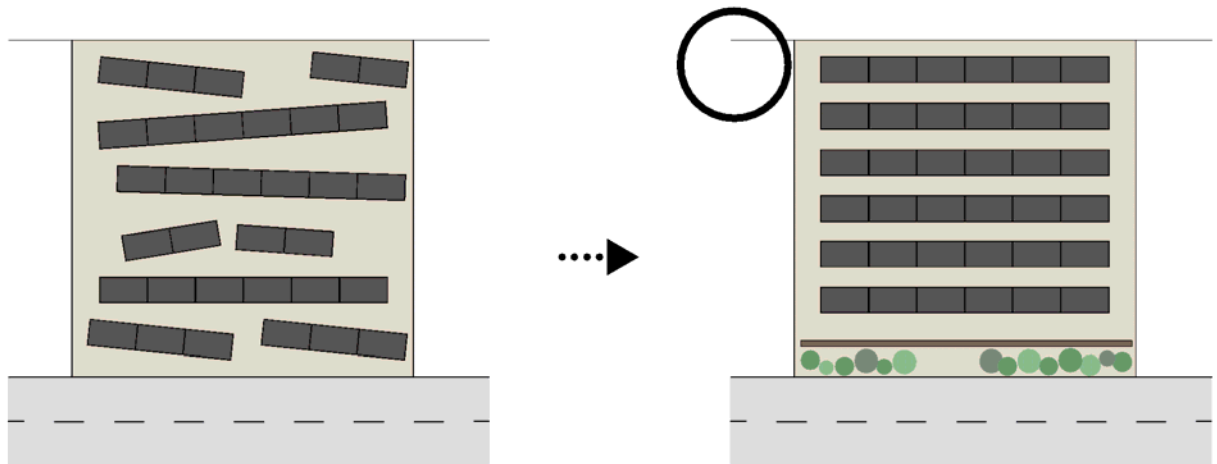
中津川市のような起伏のある地形では、太陽光発電設備がよくみえます。境界部を緑化し、太陽光発電設備をきれいに整列させるなどの配置の工夫をすることで、景観に対する影響を軽減することができます。

■配置



▲傾斜地における配慮

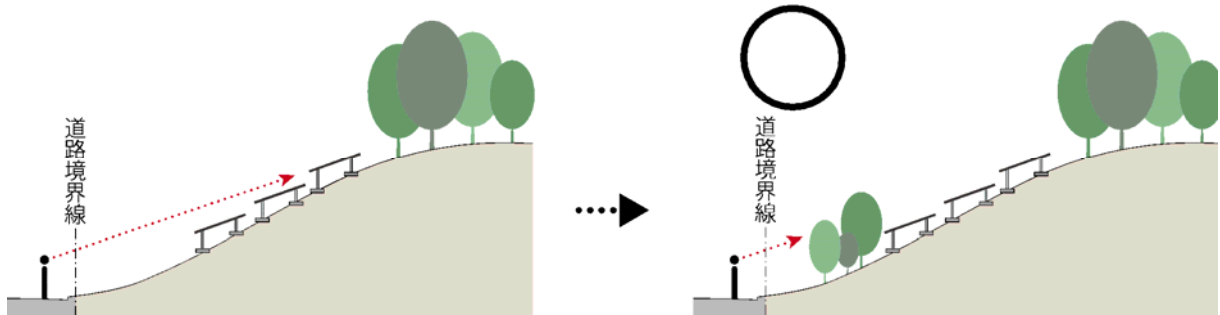
傾斜地に太陽光発電設備を設置すると眺望に大きく影響します。山頂や尾根線などでは、太陽光発電設備の設置を避けることで、美しい稜線の景観を守ることができます。また、きれいに整列させることで、太陽光発電設備の圧迫感が軽減されます。



▲平地における配慮

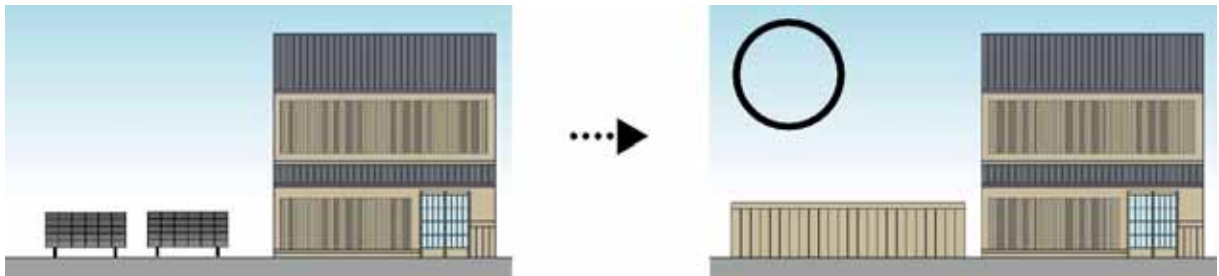
平地においても、太陽光発電設備を配置する場合は、きれいに整列させることで、景観への影響を軽減することができます。

■敷地境界への配慮



▲傾斜地における配慮

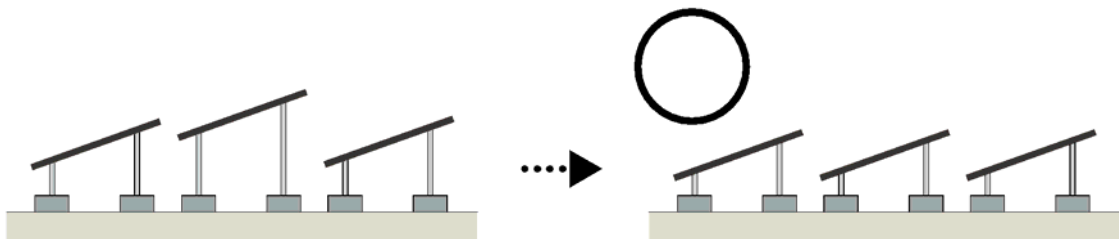
敷地境界部を緑化することで、山々の緑に配慮し、太陽光発電設備の圧迫感が軽減されま



▲平地における配慮

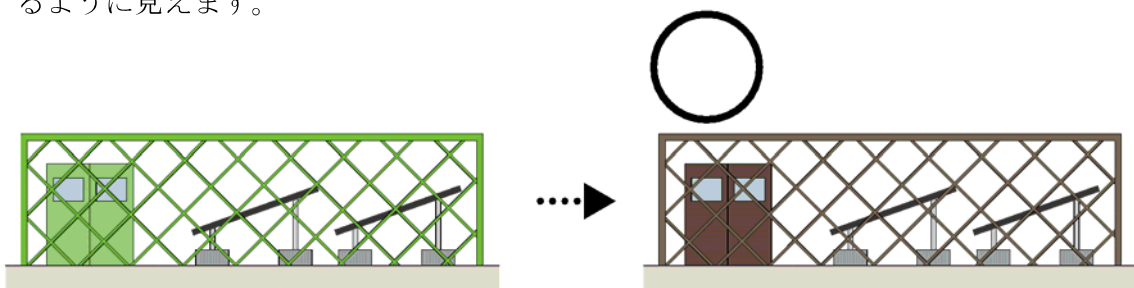
敷地境界を緑化、又は、伝統的な家屋に配慮した素材や素材色の門塀を設けることで、周辺のまちなみに調和します。

■太陽光発電設備、又は付属設備の配慮



▲高さ

太陽光発電設備は、高さを揃え、また、高すぎない設置にすることで、美しく整列しているように見えます。



▲色彩

敷地境界への配慮を実施する場合を除き、太陽光発電設備やその付属設備、又は除草シートなどの色彩は、落ち着いた色彩や質感のものを使用すると、周辺の景観に配慮することができます。